

令和 7年度（明許繰越）

仕 様 書

事 業 名： 【河川】緊急自然災害防止対策事業

工 事 場 所： 竹原市 下野町

工 事 名： 大王地区浸水対策事業 普通河川高下谷川河川改修工事(3 工区)

工 事 概 要：

PC 函渠工 L=17m

ブロック積工 A=29m²

HPPE 管 φ100mm 布設工 L=40.3m

迂回路工 N=1 式

【添付書類】

☐ 特記仕様書

☐ 工事数量総括表

☐ 図面 等

特記仕様書（個別事項）

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、大王地区浸水対策事業 普通河川高下谷川河川改修工事（3工区）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版
 - ・特記仕様書（共通事項）（令和8年6月）広島県

※ 土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
・その他関連規格類

第2節 中間検査

本工事は中間検査の対象工事とする。

第3節 現場代理人の兼務

現場代理人の兼務については竹原市ホームページに掲載している。

<https://www.city.takehara.lg.jp/soshikikarasagasu/zaiseika/gyomuannai/3/kensetsukonsaru/2/1619.html>

第4節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-26 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第5節 概算数量発注方式による積算

本工事は、詳細な設計が必要な標準断面図又は概略設計図により積算を行い、発注しており、実施については特記仕様書（共通事項）第1章 総則 第6節 概算数量発注方式による積算 2 詳細な設計が必要な工事に従うこと。

第6節 週休2日適用工事

本工事は、週休2日（土日）適用工事（受注者希望型）であり、「竹原市週休2日適用工事等実施要領（令和7年6月1日一部改正）」に従うこと。
なお、工事着手までに「休日取得計画表」を記載した施工計画書を監督職員に提出するものとし、対象期間を明確にするため、工事着手日と工事完了日を計画表に明記するものとする。

※竹原市週休2日適用工事等実施要領については、「竹原市の入札・契約」に掲載している。
https://www.city.takehara.lg.jp/material/files/group/4/syukyu2katekiyokouzi_zissiyoryo.pdf

※様式「休日取得計画表」は「広島県の調達情報HP＞公共工事等の情報_様式集＞建設工事関係_その他契約関係様式」に掲載している。

第7節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlitt.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあつては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
 - ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあつては、当該許可を受けている。
 - イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあつては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

- 7 確認結果票の掲示及び公表
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
(2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
(4) 建設発生土の搬出量
(5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 13 建設発生土の最終搬出先までの確認
受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。
- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
(3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
(4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出ししないもの）

第2章 材料

第1節 大型土のう

本工事は、大型土のうを使用する工事であり、特記仕様書（共通事項）第2章 材料 第3節 大型土のう に規定する「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアル については、「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアル（第2回改訂版）に読み替えるものとする。

第3章 施工条件

第1節 材料費

見積による材料費については、参考図書に添付した見積単価表のとおり公表する。

第2節 工程

以下の工事について、本工事範囲内にて施工があるため、工程調整を行うこと。

工事名	市道高下谷線配水管布設替工事（仮称）
影響箇所	NO. 3+10～NO. 9, NO. 10+14～NO. 12
工事の内容	配水管布設替工事
時期	令和8年10月～令和9年3月
発注者	広島県水道広域連合企業団竹原事務所
備考	迂回路は本工事で設置するものを共用する。

第3節 交通規制及び迂回路

本工事は市道の長期間の全面通行止めを行い、民地に迂回路を設置することを想定しているため、受注者の責により、周辺住民等への周知を密にし、また交通規制の範囲及び期間を最小限に抑えるよう努めること。また、以下のとおり迂回路を施工すること。

- 1 田んぼ表土処理
田んぼの迂回路設置範囲の表土を剥ぎ取り、通行の支障のない場所に集積すること。
- 2 迂回路舗装
迂回路にはアスファルト舗装を行うこと。
- 3 飛散防止
また、迂回路の碎石等が田畑に飛散するのを防止するため、ブルーシート等の設置を行うこととともに、飛散物の清掃を行うこと。
- 4 草処分
迂回路設置を想定している民地（下野町4184-6）の草刈りを行い、現地に残置されている草とともに処分すること。
- 5 安全対策
昼夜問わず通行できるよう、工事規制灯等の安全対策を行うこと。
また、離合箇所を1箇所設置すること。
- 6 迂回路撤去時の復旧
田んぼの表土復旧及び飛散物の清掃等により、原状復旧すること。
また、迂回路のアスファルト舗装区間について、オーバーレイを行うこと。
- 7 その他
記載のない事項については、設計図書を踏まえて施工すること。

第4節 盛土/埋戻

1 流用土 (工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、90.1m³ (河川) (いずれも地山土量) については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

2 購入土 (搬入) (建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土)

本工事では、552.5m³ (河川迂回路) (ほぐし土量) の土砂購入を見込んでいる。

- (1) 当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土 (改良土を含む。) を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費 (工場渡し) の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用 (単価) は変更しない。
- (2) (1) により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督職員と協議すること。
- (3) 使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領 (案)」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果 (計量証明書) を提出するものとする。

第5節 建設副産物

1 建設発生土 (搬出) (建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地) (指定処分 (A))

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用 (単価) は変更しない。

搬出場所 有限会社エス・エス朝日山残土処理場 (竹原市下野町字朝日山10661-1)

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

1. 施工(施行)方法

本工事の施工にあたっては、最新の土木工事共通仕様書広島版及びその他関係指針によるものとし、本水道設備に使用する機器・材料については日本水道協会(JWWA)、JIS、JEM、JECなど各規格に準拠するものを使用すること。

また、配管やバルブ等にあつては、規定の表示項目(年号・製造業者・呼び径等)の確認、検査合格証印を打刻・押印・吹付け・鏝出しで表示(あるいは検査合格証紙を貼付)したものを使用する。

※本工事実施に際し、当初設計に含まれていない事項が発生した場合は、必ず書面により監督職員と協議し施工すること。

2. 工事完成検査

工期には検査期間を含んでおり、工事完成検査による工事完成通知書は、終期日の13日前までに監督職員に提出しなければならない。

このため、請負者は、期日までに完成通知書並びに完成図書を提出すること。

3. 地元対応

受注者は、工事着手にあたって、事前に工事の予告看板を設置し、地元自治会長並びに工事区間の沿線住民に対して、案内文書などによる対応について、監督職員と事前協議のうえ実施すること。

【配管工事】

4. 配管等使用材料

配管材料等の使用材料の有効年月日は、次表のとおりとし、監督職員の承認及び材料確認を受けたものを使用すること。

種 別	材 料 名	有効年月	備 考
配管材料	ダクタイル鋳鉄管	工事年度製造品	
	水道配水用ポリエチレン管	同上	
	硬質塩化ビニール管	同上	
	弁・栓類	同上	
	接合材	同上	ボルト・ナット・パッキン等
	管付属品	同上	ローケティングワイヤー 管明示テープ
	ボックス類	同上	

※管材料においては、年度当初(7月末迄)工事の場合、製造1年未満まで使用可能とする。

なお、上記により難しい場合は、監督職員と協議すること。

5. 配水管布設工事

- ①布設する配水管並びに弁栓類の位置については、事前に監督職員と立会いし施工しなければならない。
- ②本工事において、各部材の締め付けは、所定のトルクを確保すること。
- ③本工事内の、不断水分岐の際の試験水圧は1.0Mpaとする。
- ④本工事は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会講習及び受講証を取得し携帯している者が施工しなければならない。
- また、一般継手・耐震継手配水管技能者登録証を取得し携帯している者(以下、有資格者1)が施工しなければならない。
- ⑤本工事における給水管切替は、給水装置工事主任技術者証を取得し携帯している者(以下、有資格者2)が施工しなければならない。
- ※有資格者1及び有資格者2の写しを提出すること。

- ⑦受注者は、施工にあたり、配水用ポリエチレンパイプシステム協会発行の施工マニュアルに従って施工すること。
- また、一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会発行の接合要領書に従って施工すること。
- ⑧本工事で使用するEF融着チェックシートについては、竹原事務所指定のものを使用し、EF融着箇所には、融着番号、融着開始時刻、融着終了時刻、融着器取外時刻、配管工(実作業人)が入ったラベルを貼り付け撮影、その記録をまとめた書類を提出すること。
- また、本工事で使用するGX形継手用の各種チェックシートについては、一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会発行の接合要領書に添付されている各種チェックシートを使用し、その記録をまとめた書類を提出すること。
- ⑨仮舗装復旧施工時は、管布設後、当日中に施工しなければならないため、布設延長については、施工計画時に十分検討し計画しなければならない。

6. 新設配水管内洗管作業及び水圧試験

- ①受注者は、配水管布設が完了した旨を監督員に報告する。その後、初日に監督職員などにおいてバルブ操作を行い、新設配水管に充水すると共に、新設消火栓及びドレンにおいて、エアーや作業上で発生した濁りについて昼間及び夜間を通し洗浄を行う。
- その翌日において、新設された配水管に漏れがないか確認を行うため、新設の各仕切弁等を全閉し、消火栓において水圧測定機を取り付け、24時間水圧状況を観測する。観測結果、水圧に変動がない(漏れがない)のを確認したのち、監督員の指示により既設給水管の切替作業に当たること。(なお、この方法により難しい場合は別途協議できるものとする。)

7. 給水管布設工事

- ①受注者は、給水管布設に先立ち、切替作業がスムーズに出来るよう事前に切替対象家屋の調査を行ない、切替する家屋と止水栓の整合をとっておく。また探知器により給水管の位置を把握してこと。調査中、不明な止水栓を発見した場合は、監督職員に確認すること。
- ②本工事内の、給水管の各種試験水圧は1.0Mpaとする。
- 水圧試験合格後に、サドル分水栓に穿孔機を取付し穿孔、既設給水管と接続する。
- ③完成時に提出する図書には、配水管からの分岐～既設給水管接続までのルートが分かる鮮明な写真とし、分岐家屋(共同管の場合はすべての家屋又は代表家屋(外〇名)を表記)、使用材料及び数量の入った黒板を付け撮影すること。
- なお調査に関わる資料は、監督職員から借用を受け、使用後は必ず返却すること。

8. 給水管切替工事

- ①受注者は、給水管の切替工事の実施前において切替家屋対象者へ事前に通知し、実施後は出水の有無を確認すること。なお作業中に対象者が不在で確認できない場合は、お知らせ文などで周知させ、当日もしくは後日に受注者の責任で出水の有無の確認作業を行うこと。
- ②切替工事に伴い、私有地を掘削する場合は、受注者で事前に工事の説明を行ない作業すること。

9. 共通工事

- ①配水管及び給水管の布設高は、原則土被り60センチ以上であるが、他の横断管などで確保できない場合は、下越しによる布設を基本とする。なお、それにより難しい場合は、書面により監督職員と協議の上、施工すること。
- ②施工時に現場と設計に相違があることが判明した場合は、監督職員に報告し技術提案等を行うとともに、設計変更が生じる場合は、監督職員と協議すること。
- ③管理戻(置替)工に使用する埋戻し材料については、竹原事務所指定の材料を使用すること。
- ④仮舗装復旧は、管布設後、当日中に施工しなければならない。
- ⑤本舗装復旧実施にあたっては、事前に監督職員の立会いを求めること。
- ⑥受注者は、布設工事中及び完了した際は、変更並びに竣工に必要な配管図及び材料表等を作成し、監督職員に提出すること。
- ⑦その他については監督職員と協議し実施すること。

10. 提出書類

共通仕様書等で定められた提出書類のほか、以下のものを提出すること。

①材料確認書

事前に材料確認書を提出し日程調整の上、材料検査当日に納品書(写し)又は出荷証明書(原本)を提出する。後日、立会時の検査写真と併せて提出すること。

②竣工図

工事進捗に合わせて順次作成を行い、現場作業が完了後速やかに提出すること。

- (1)横断面図は測点毎に作成
1)道路幅員 2)掘削幅 3)床掘幅 4)道路幅員及び道路境界線からの寄り幅
5)土被り 6)測点間の配水管等の管種・口径・延長 7)地下埋設物の有無
(2)配管図・配管表
配管時に振られた番号と整合が取れるよう図面を作成すること。
(3)その他指示した図面及び数量計算書

③写真管理

各工種毎、各測点毎の写真管理を行い、現場作業が完了後速やかに提出すること。

布設工については、測点問わず材料すべてを対象とする。

- | | | | |
|---|--------------------|-----------------------|--------------------|
| 1) 着工前 | 2) 完成 | | |
| 3) 配水管土工(切断・取壊し・殻厚・殻掘削積込・掘削・積込・埋戻・残土運搬・殻運搬) | | | |
| 4) 布設工(材料毎・全延長) | 5) 融着前(1箇所毎) | 6) 融着状況(1箇所毎) | |
| 7) 融着後(1箇所毎) | 8) 融着ラベル(1箇所毎) | 9) ロケーティングワイヤー取付(全延長) | 9-2) 埋設シート敷設(全延長) |
| 10) 仕切弁設置(1基毎) | 11) 仕切弁ボックス設置(1基毎) | 12) 消火栓設置(1基毎) | 13) 消火栓ボックス設置(1基毎) |
| 14) 給水管切替土工(1箇所毎) | 15) 給水管切替工(1箇所毎) | | |
| 16) 下層路盤工 | 16-2) 上層路盤工 | 17) 仮表層工 | |
| 18) 仮舗装版及び影響幅舗装版処分(影響部切断・取壊し・殻掘削積込・殻運搬) | | | |
| 19) 不陸整正 | 20) 本表層工 | 21) 区画線工(有りのみで箇所毎) | |
| 22) 地下埋設物隔離状況(箇所毎) | 23) その他必要な写真 | | |

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費（河川）					
築堤・護岸		式		1	レベル1
河川土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	【土砂】 【小規模】	m3		140	レベル4
法面整形工		式		1	レベル3
法面整形(切土部)	【現場制約無, 礫質土】	m2		30	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
法覆護岸工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
Coブロック工(Coブロック積)		式		1	レベル3
コンクリートブロック基礎	【18-8-40BB, 各種】	m		15	レベル4
コンクリートブロック積	【粗面 裏コン各種】	m2		29	レベル4
胴込・裏込材(碎石)	【RC-40】	m3		15	レベル4
天端コンクリート	【18-8-25(20)BB】	m3		1	レベル4
小口止工		式		1	レベル3
小口止コンクリート	【小型構造物, 18N】	m3		0.6	レベル4
擁壁護岸工		式		1	レベル2

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
作業土工		式		1	レベル3
場所打擁壁工		式		1	レベル3
コンクリート	【場所打擁壁, H=1.72, 18-8-40BB】 【一般養生】	m3		4	レベル4
底張コンクリート工		式		1	レベル3
底張コンクリート		m3		6	レベル4
函渠工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
函渠工		式		1	レベル3
基礎材	【RC-40, t=250mm】	m2		54	レベル4
基礎コンクリート	【18-8-40BB, t=200mm】	m3		11	レベル4
PC函渠	【内幅2500, 内高1200, 函渠質量～5t】	m		17	レベル4
ボックス接続暗渠工		式		1	レベル3
暗渠排水管	【既設撤去・据付, VU各種】	m		4	レベル4
削孔(函渠接続)		箇所		2	レベル4
土留工（ボックス飲口）		式		1	レベル3
土留壁コンクリート	【小型構造物 18-8-40BB】	m3		0.8	レベル4
場所打擁壁工（ボックス吐口）		式		1	レベル3
コンクリート	【場所打擁壁, H=2.25, 18-8-40BB】 【一般養生】	m3		8	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
足場	【安全ネット無】	掛m2	13	レベル4
床版工		式	1	レベル2
橋台工		式	1	レベル3
コンクリート	【小型構造物 18-8-40BB】	m3	0.3	レベル4
基礎材	【RC-40, t=150mm】	m2	0.3	レベル4
プレキャスト床版工		式	1	レベル3
プレキャスト床版		本	1	レベル4
付帯道路工		式	1	レベル2
アスファルト舗装工		式	1	レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	【RC-40, t=100mm】	m2	162	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)	【RM-30, t=100mm】	m2	162	レベル4
表層(車道・路肩部)	【再密20, t=50mm, W=3.0m〜】	m2	297	レベル4
区画線工		式	1	レベル3
溶融式区画線	【実線15・ゼブラ45, t=1.5mm】 【排水性舗装無】	m	20	レベル4
付帯道路施設工		式	1	レベル2
防止柵工		式	1	レベル3
転落(横断)防止柵	【H=1.1m, 建込】	m	7	レベル4
道路付属物工		式	1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
視線誘導標	【設置 片面反射 径φ300, 10本未満】	本	4	レベル4
道路反射鏡設置		基	3	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
構造物取壊し工		式	1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	【無筋・鉄筋, 機械】	m3	37	レベル4
舗装版切断	【As, t=〜15cm】	式	1	レベル4
舗装版破碎	【As, t=〜15cm】	m2	275	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
迂回路設置工		式	1	レベル3
迂回路撤去工		式	1	レベル3
アスファルト舗装工	【迂回路復旧】	式	1	レベル3
表層(車道・路肩部)オーバーレイ	【再細13, t=30mm, W=3.0m〜】	m2	156	レベル4
土留・仮締切工		式	1	レベル3
濁水処理工		式	1	レベル3
購入土運搬工		式	1	レベル3
残土処理工		式	1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0007

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費（水道）					
管路(水道)		式		1	レベル1
管渠工(開削)		式		1	レベル2
仮設管土工		式		1	レベル3
仮設管土工		式		1	レベル4
支障部配水管土工		式		1	レベル3
支障部配水管土工		式		1	レベル4
仮設管φ100布設工		式		1	レベル3
仮設管φ80布設工		式		1	レベル3
支障部布設工		式		1	レベル3
管・弁材料工		式		1	レベル3
仮設管φ100材料		式		1	レベル4
仮設管φ80材料		式		1	レベル4
支障部材料費		式		1	レベル4
管渠工(開削 給水管)		式		1	レベル2
仮設給水管土工		式		1	レベル3
仮設給水管土工		式		1	レベル4
仮設給水管布設工		式		1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0008

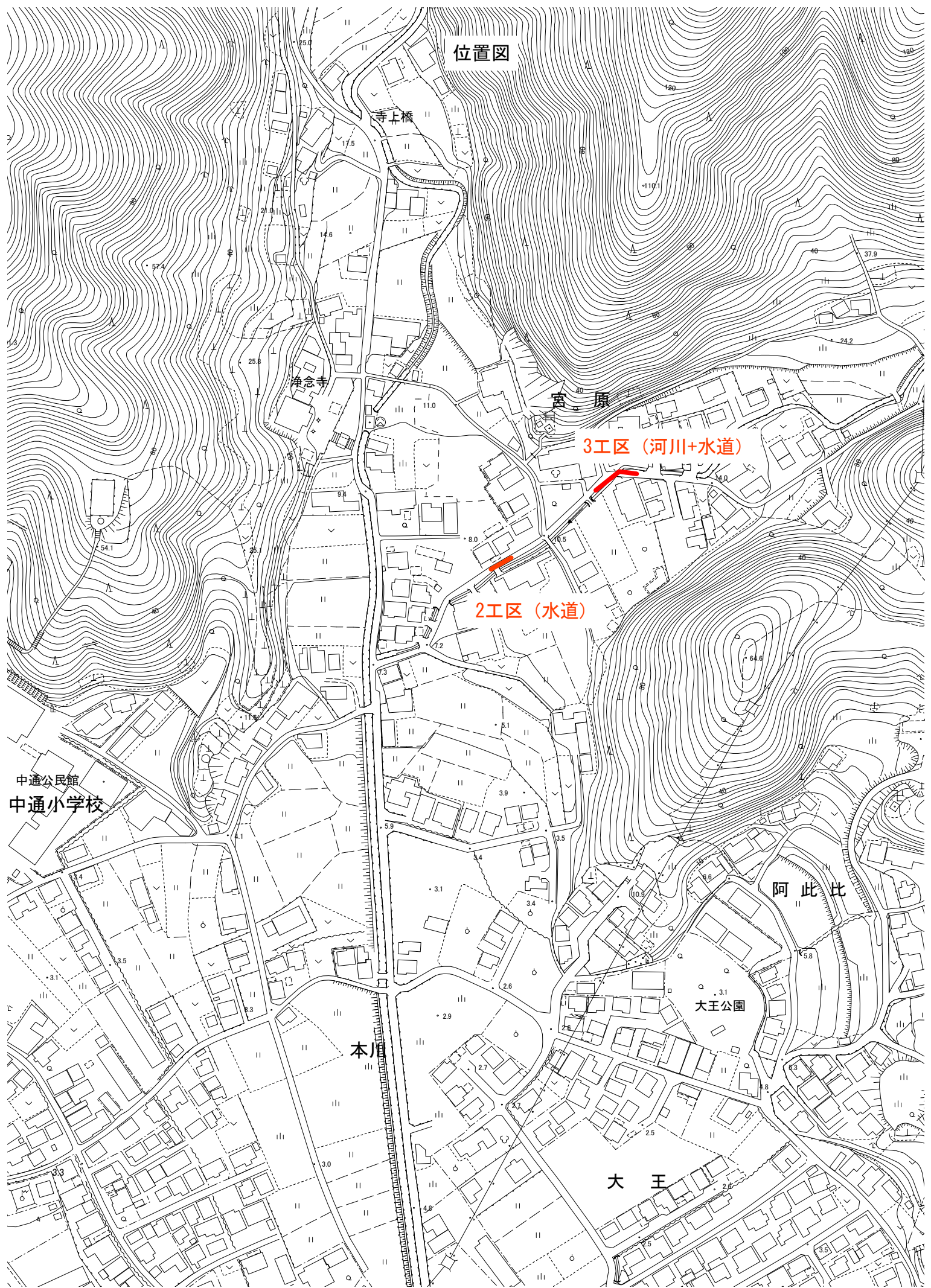
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
管・弁材料工		式		1	レベル3
仮設給水管材料		式		1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		30	レベル4
※※直接工事費※※					
現場環境改善費					
現場環境改善費		式		1	レベル2
現場環境改善費		式		1	レベル3
現場環境改善費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
※※共通仮設費計※※					
※※純工事費※※					
現場管理費					
※※工事原価※※					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					

工事数量総括表

頁0 -0009

[illegible]

位置図



寺上橋

浄念寺

宮原

3工区 (河川+水道)

2工区 (水道)

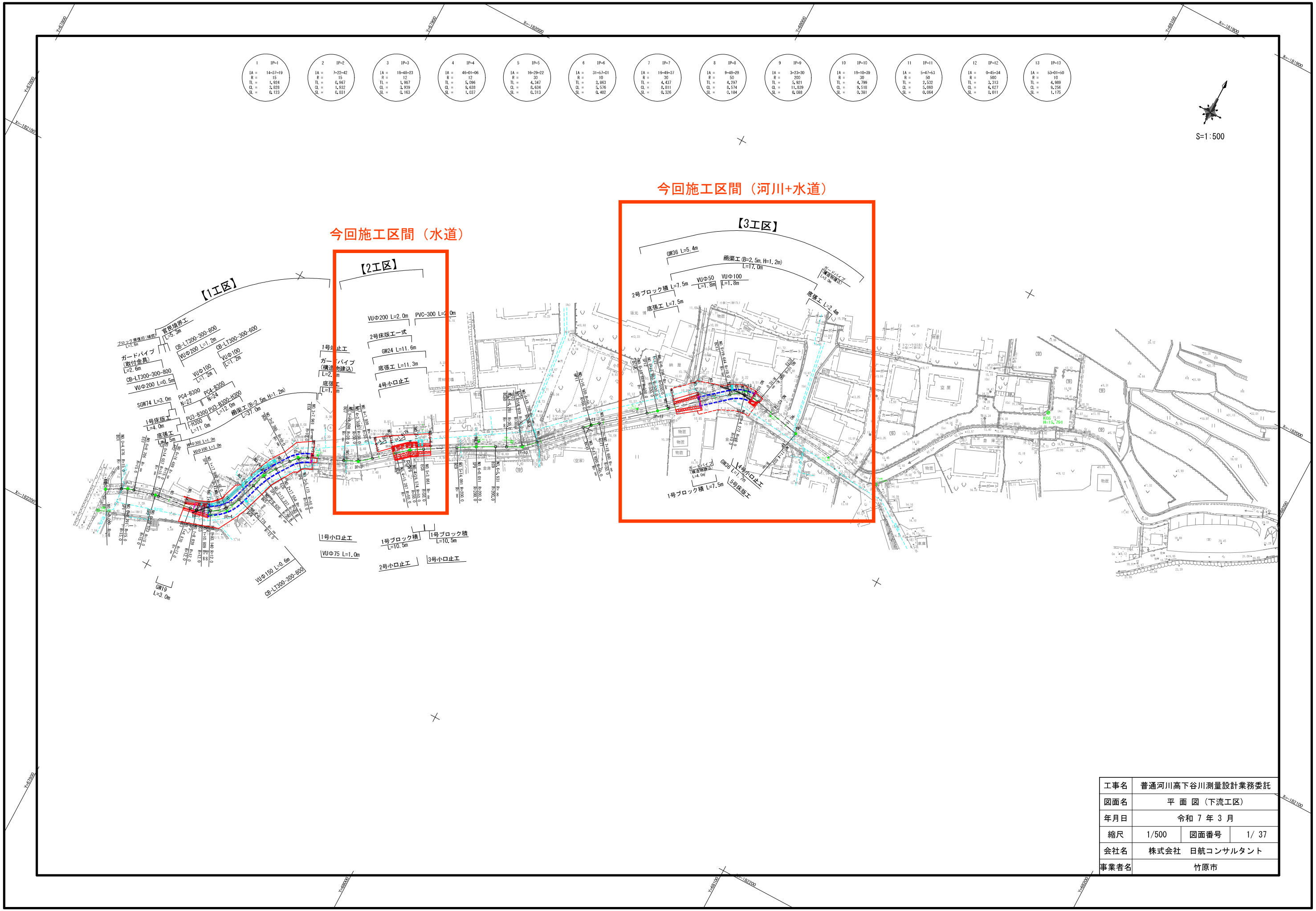
中通公民館
中通小学校

本川

大王公園

阿此比

大王



1	IP-1	IA = 14-31-19 R = 15 TL = 1,494 CL = 3,828 SL = 0,123
2	IP-2	IA = 7-22-42 R = 15 TL = 0,967 CL = 1,832 SL = 0,031
3	IP-3	IA = 19-48-23 R = 12 TL = 1,467 CL = 3,839 SL = 0,163
4	IP-4	IA = 46-01-06 R = 12 TL = 5,096 CL = 9,638 SL = 1,037
5	IP-5	IA = 16-29-22 R = 30 TL = 4,347 CL = 8,634 SL = 0,313
6	IP-6	IA = 31-57-01 R = 10 TL = 2,863 CL = 5,576 SL = 0,400
7	IP-7	IA = 16-49-37 R = 30 TL = 4,437 CL = 8,811 SL = 0,326
8	IP-8	IA = 9-45-29 R = 200 TL = 4,297 CL = 8,574 SL = 0,164
9	IP-9	IA = 3-23-30 R = 30 TL = 5,921 CL = 11,839 SL = 0,088
10	IP-10	IA = 16-10-39 R = 30 TL = 4,799 CL = 9,518 SL = 0,381
11	IP-11	IA = 5-47-53 R = 50 TL = 2,532 CL = 5,060 SL = 0,064
12	IP-12	IA = 0-45-34 R = 500 TL = 3,313 CL = 6,627 SL = 0,011
13	IP-13	IA = 53-01-50 R = 10 TL = 4,989 CL = 9,756 SL = 1,175



今回施工区間（河川+水道）

今回施工区間（水道）

工事名	普通河川高下谷川測量設計業務委託		
図面名	平面図（下流工区）		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	1/500	図面番号	1/ 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		

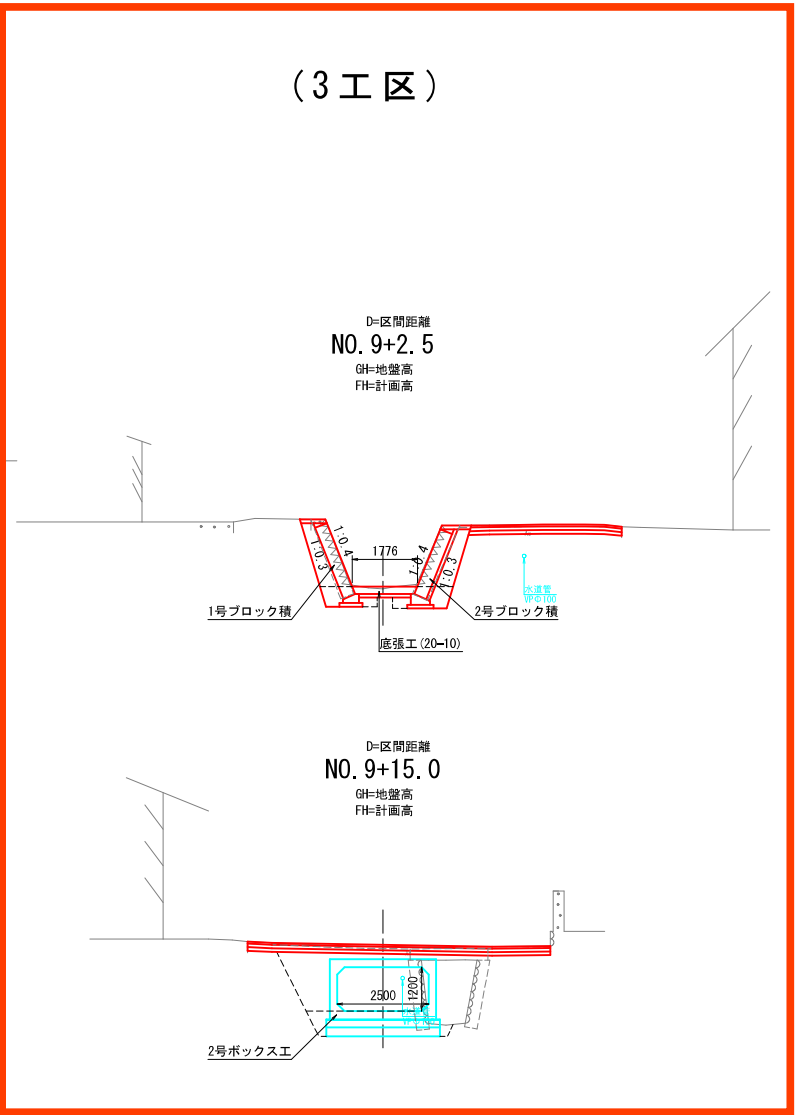
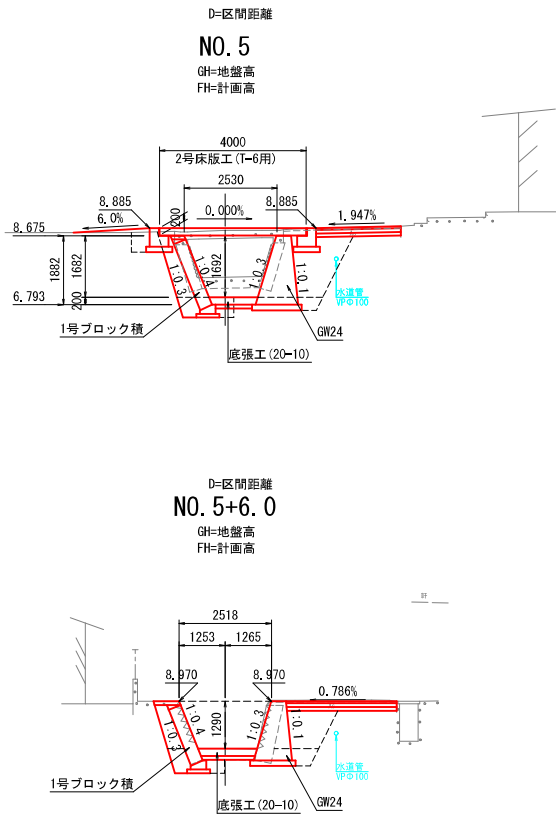
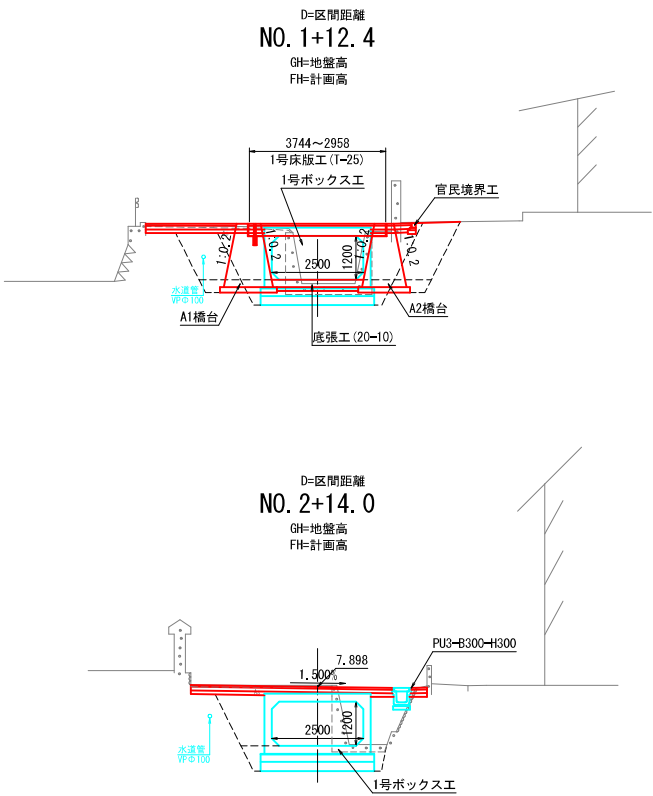
標準断面図

今回施工区間

(1工区)

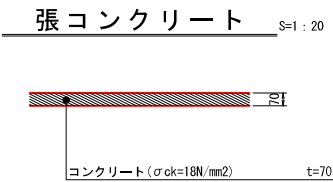
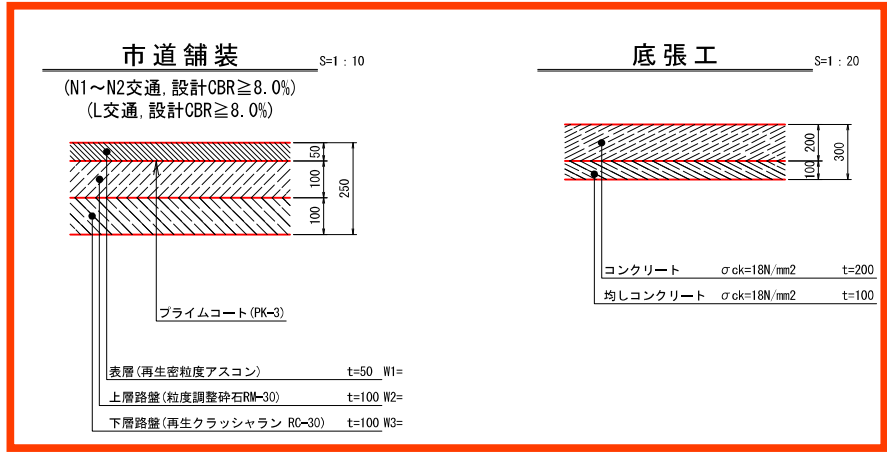
(2工区)

(3工区)

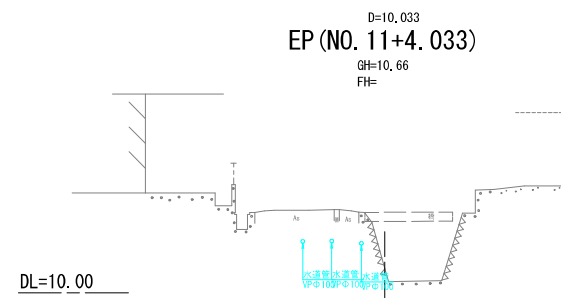
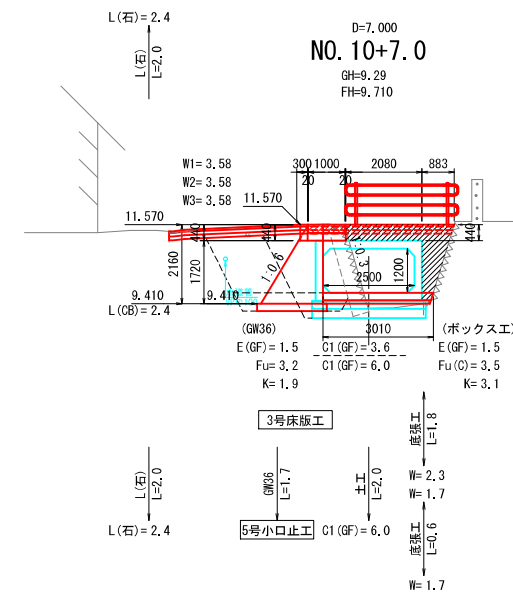
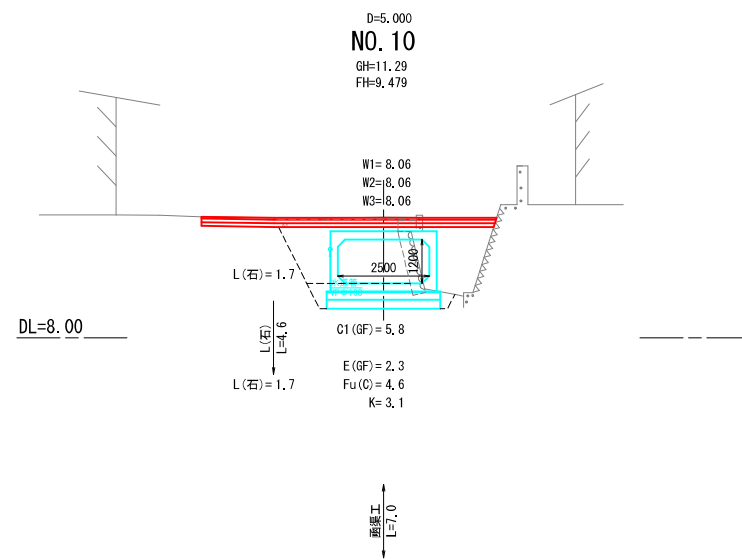
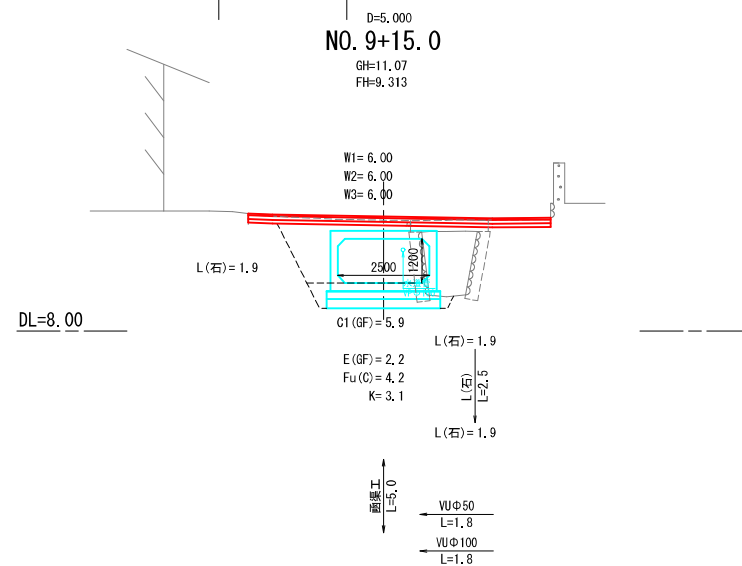
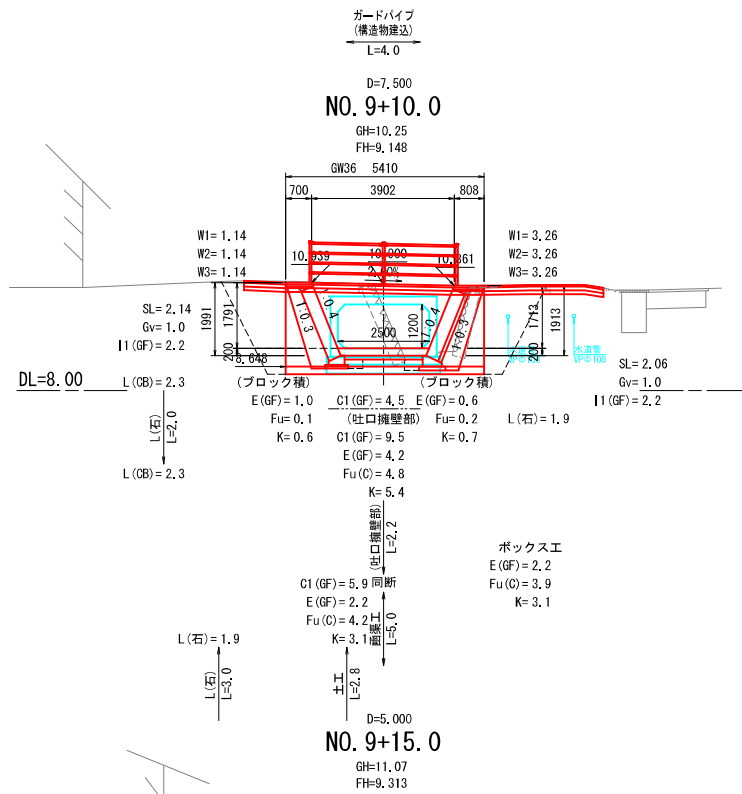
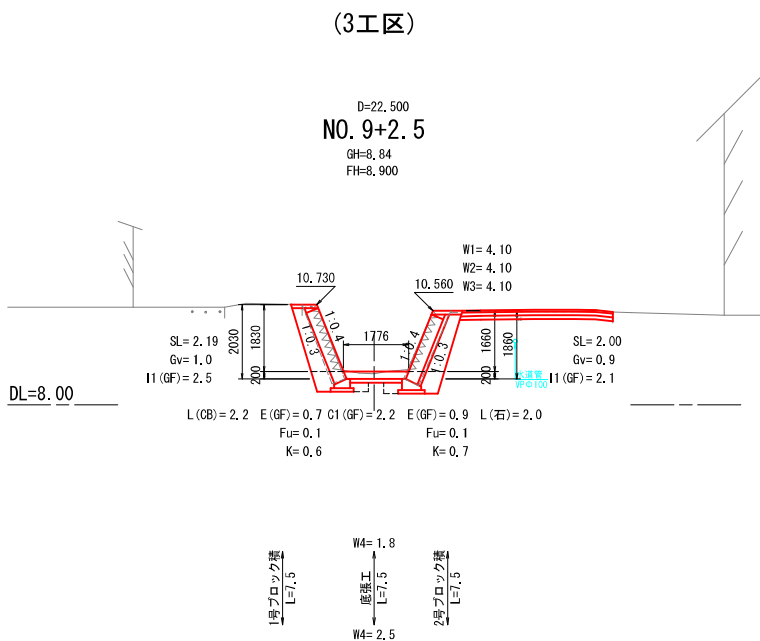
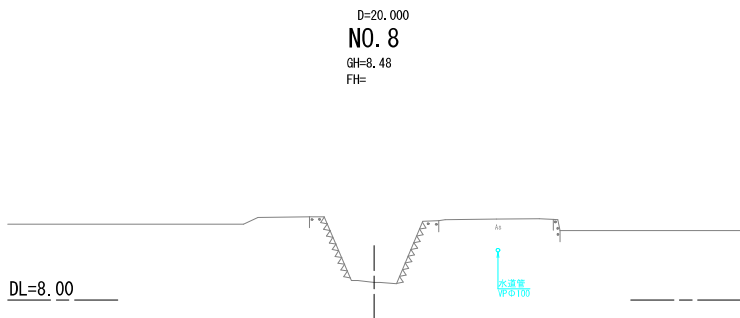
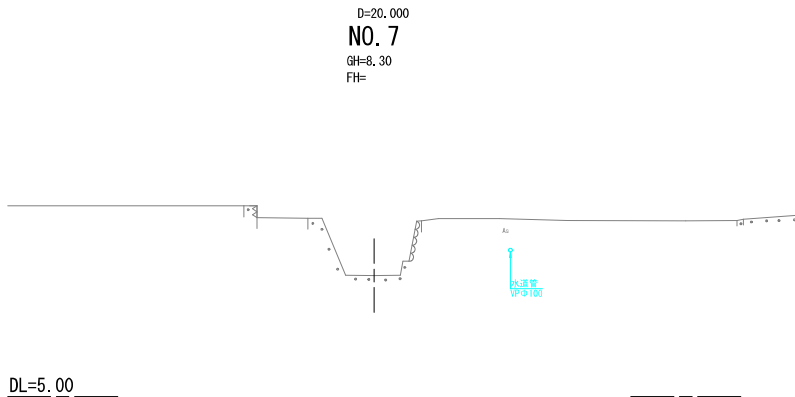


数量記号一覧表			
工種	種別	規格・細別	記号
土工	片切	W<5.0	C1
	粘性土掘取	W<2.5	C(C)
	法面整形	切土法面整形	I2
	床掘		E
	埋戻		Fu
擁壁工	重力式擁壁	直高	H
	ブロック積	法長	SL
積工	裏込砕石	裏込砕石立積	Gv
取壊工	アスファルト剥取	アスファルト幅員	W(As)
	コンクリート取壊	無筋構造物	C(Co1)
	コンクリート取壊	鉄筋構造物	C(As)
	ブロック積取壊	法長	L(CB)

土質記号	
土質名	記号
砂質土	(SF)
レキ質土	(GF)
粘性土	(C)
軟岩Ⅰ	(SRⅠ)
軟岩Ⅱ	(SRⅡ)
中硬岩	(MR)
硬岩	(HR)



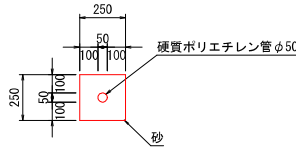
工事名	普通河川高下谷川測量設計業務委託		
図面名	標準断面図		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	S=1/100	図面番号	3 / 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		



工事名	普通河川高下谷川測量設計業務委託		
図面名	横断図 (3 / 3)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	S=1/100	図面番号	6 / 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		

VUφ50

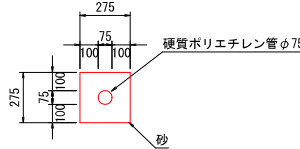
S=1 : 20



VUφ75		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単 位	数 量
塩ビ管	φ75, L=4.0m/本	本	2.5
砂		m ³	0.605

VUφ75

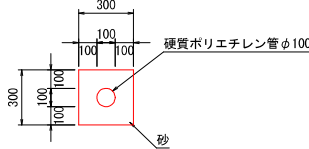
S=1 : 20



VUφ75		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単 位	数 量
塩ビ管	φ75, L=4.0m/本	本	2.5
砂		m ³	0.712

VUφ100

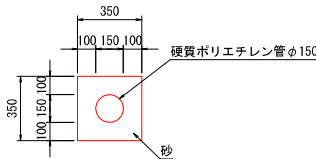
S=1 : 20



VUφ100		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単 位	数 量
塩ビ管	φ100, L=4.0m/本	本	2.5
砂		m ³	0.821

VUφ150

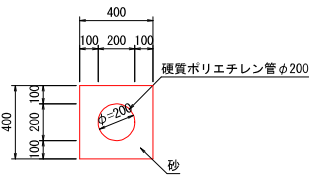
S=1 : 20



VUφ150		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単 位	数 量
塩ビ管	φ150, L=4.0m/本	本	2.5
砂		m ³	1.048

VUφ200

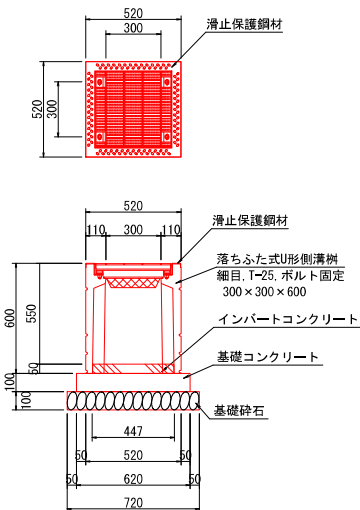
S=1 : 20



VUφ200		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単 位	数 量
塩ビ管	φ200, L=4.0m/本	本	2.5
砂		m ³	1.286

CB-LT300-300-600

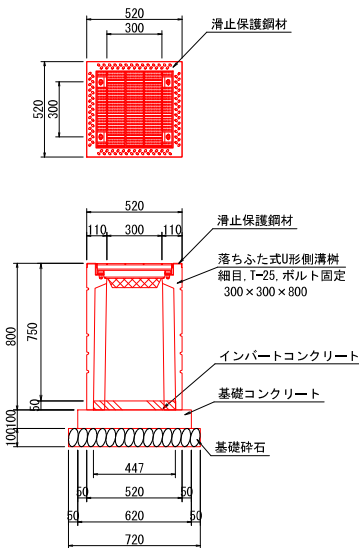
S=1 : 20



CB-LT300-300-600			
名	称	規 格	数 量
基 礎 砕 石		RC-40	0.518 m ²
基 礎 コ ン ク リ ー ト		σ _{ck} =18N/mm ²	0.052 m ³
基礎コンクリート型枠			0.038 m ²
インバートコンクリート		σ _{ck} =18N/mm ²	0.248 m ²
落ちふた式U形側溝		300×300×600	0.010 m ³
ボルト固定タイプ		細目, T-25	1 基

CB-LT300-300-800

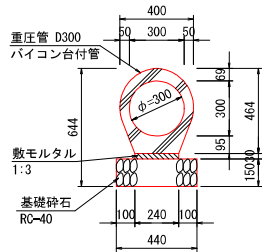
S=1 : 20



CB-LT300-300-800			
名	称	規 格	数 量
基 礎 砕 石		RC-40	0.518 m ²
基 礎 コ ン ク リ ー ト		σ _{ck} =18N/mm ²	0.052 m ³
基礎コンクリート型枠			0.038 m ²
インバートコンクリート		σ _{ck} =18N/mm ²	0.248 m ²
落ちふた式U形側溝		300×300×800	0.010 m ³
ボルト固定タイプ		細目, T-25	1 基

PVC-300

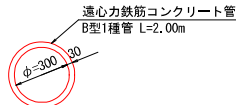
S=1 : 20



PVC-300		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単 位	数 量
重 圧 管	D300, バイコン台付管	本	5.0
敷 モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.072
基 礎 砕 石	RC-40 t=15cm	m ²	4.40
		m ³	0.660

HPφ300

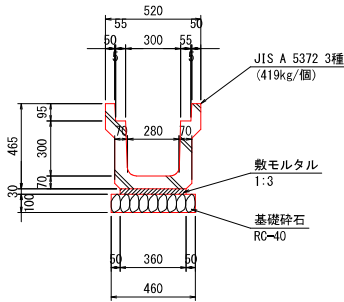
S=1 : 20



HPφ300		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単 位	数 量
ヒューム管	φ300 1種	本	5.0

PU3-B300-H300

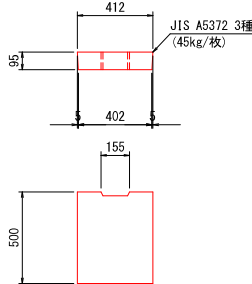
S=1 : 20



PU3-B300-H300		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単 位	数 量
基 礎 砕 石	RC-40 t=10cm	m ²	4.60
		m ³	0.460
敷 モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.108
目 地 モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.002
側 溝	JIS A 5372 3種	個	5

PC4-B300

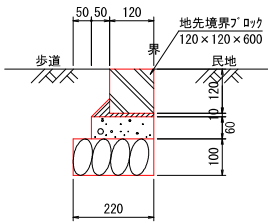
(PU3-B300用)



PC4-B300		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単 位	数 量
コンクリート蓋	PC4-B300	枚	20

官民境界工

縮尺 1:10

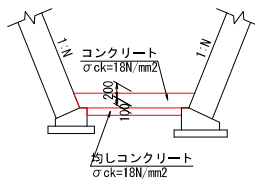


※施工時には境界確認必要

官民境界工		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単 位	数 量
コ ン ク リ ー ト	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.102
型 枠		m ²	1.200
基 礎 砕 石	RC-40 t=10cm	m ²	2.200
		m ³	0.220
敷モルタル	1:3	m ³	0.025
目地モルタル	1:3	m ³	0.001
ブロック	120×120×600	本	16.5

底張工

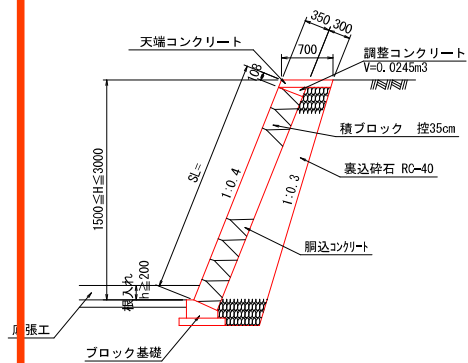
S=1 : 50



工事名	普通河川高下谷川測量設計業務委託		
図面名	構造図(下流工区)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	7/ 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		

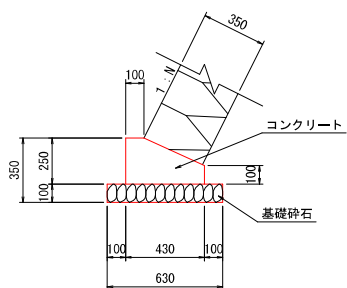
1号ブロック積 S=1:50

1.50≦H≦3.00(盛土部)



1号ブロック基礎 S=1:20

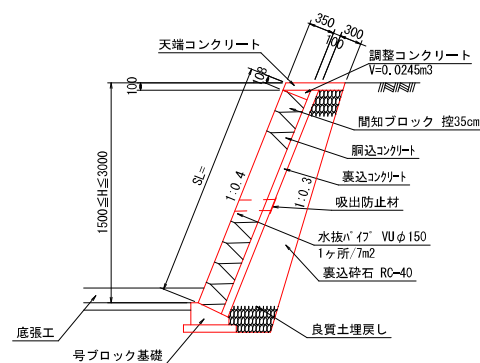
裏コン
t=0.0cm



1号ブロック基礎		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.828
型 枠	小型	m ²	3.50
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m ²	6.30

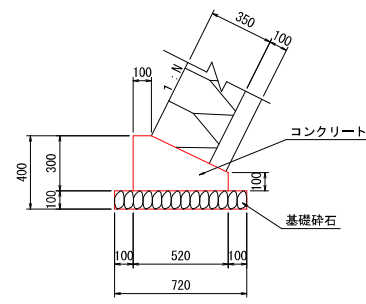
2号ブロック積 S=1:50

1.50≦H≦3.00(盛土部)



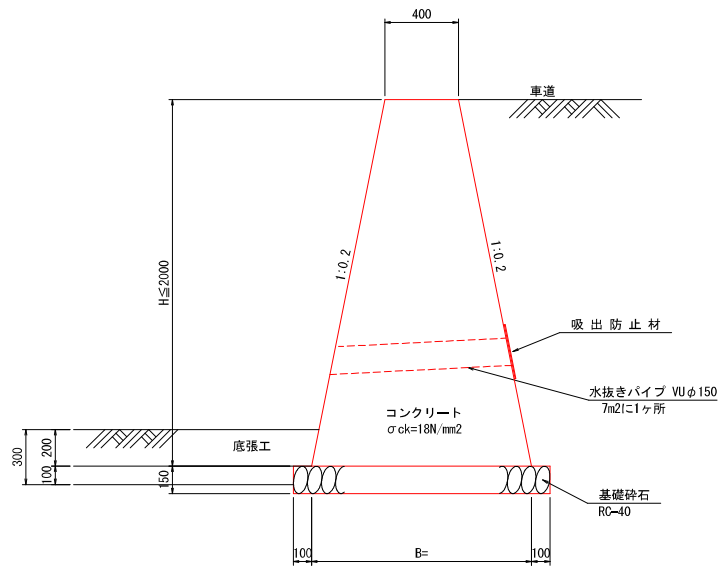
2号ブロック基礎 S=1:20

裏コン t=10cm

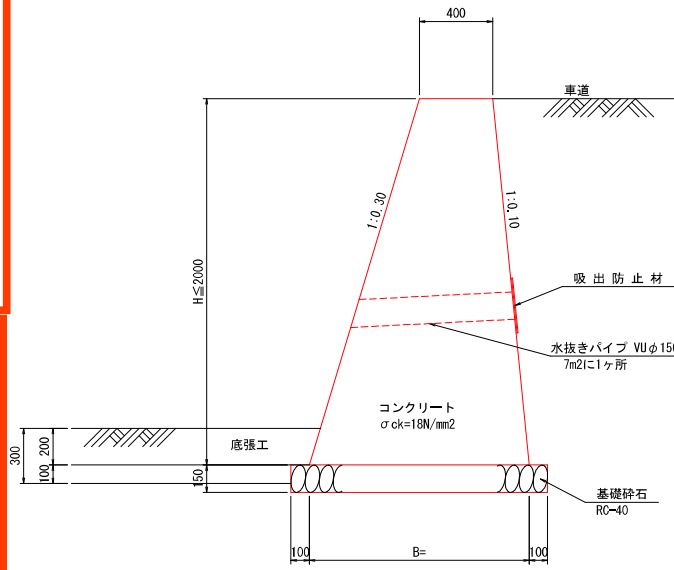


2号ブロック基礎		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	1.140
型 枠	小型	m ²	4.00
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m ³	0.720

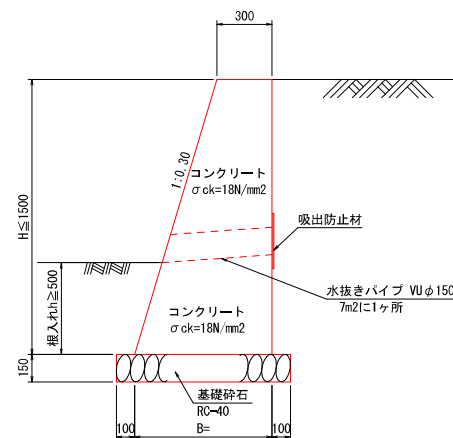
GW19 S=1:20



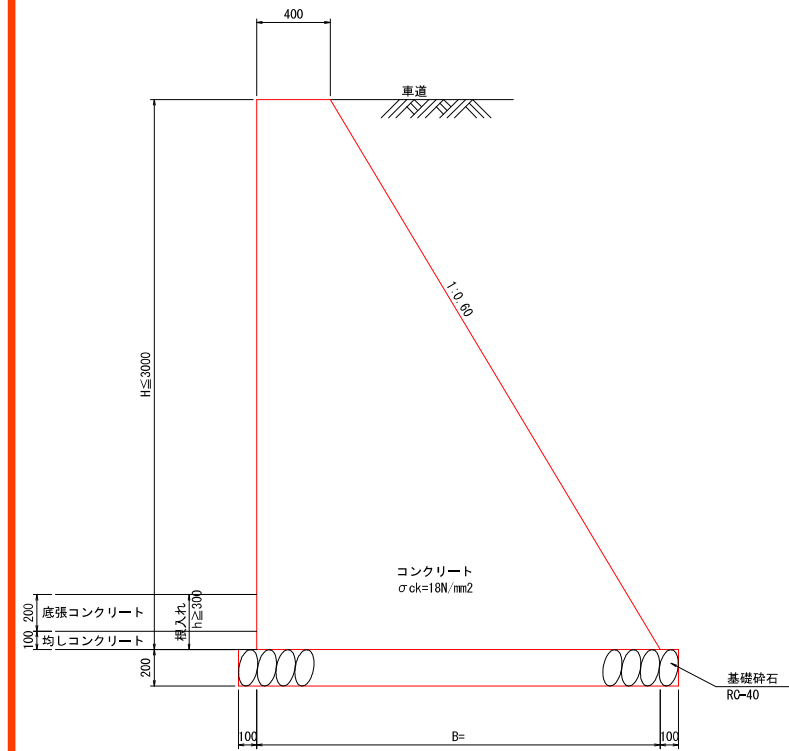
GW24 S=1:20



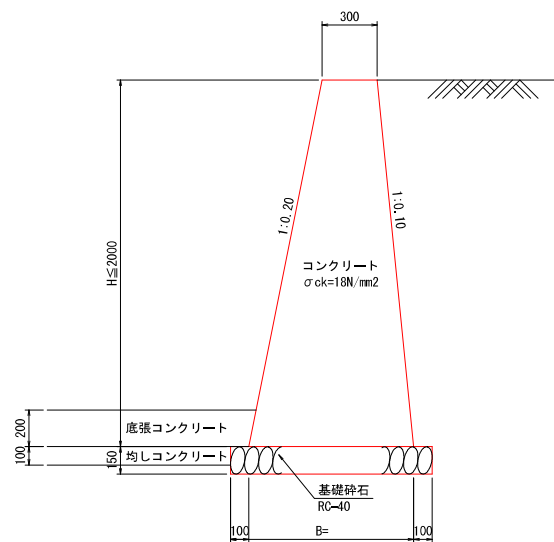
SGW55 S=1:20



GW36 S=1:20

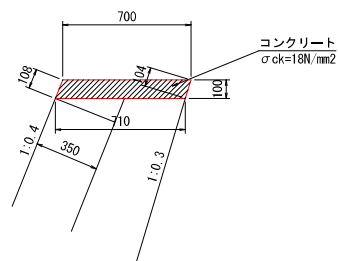


SGW74 S=1:20



1号天端コンクリート S=1:20

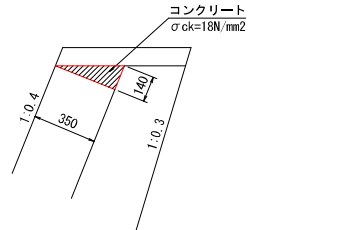
(1:0.4, t=0cm)



1号天端コンクリート		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.705
型 枠	小型	m ²	2.121

1号調整コンクリート S=1:20

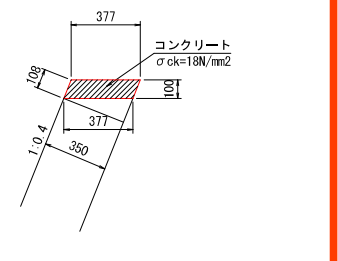
(1:0.4, t=0cm)



1号調整コンクリート		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.245

1-1号天端コンクリート S=1:20

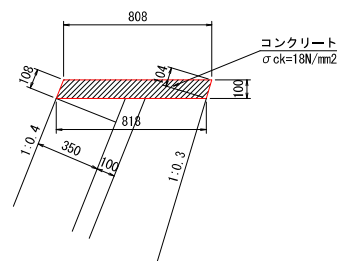
(1:0.4, t=0cm)



1-1号天端コンクリート		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.377
型 枠	小型	m ²	2.154

2号天端コンクリート S=1:20

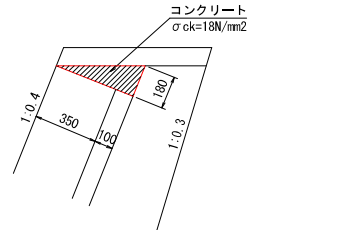
(1:0.4, t=10cm)



2号天端コンクリート		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.813
型 枠	小型	m ²	2.120

2号調整コンクリート S=1:20

(1:0.4, t=10cm)

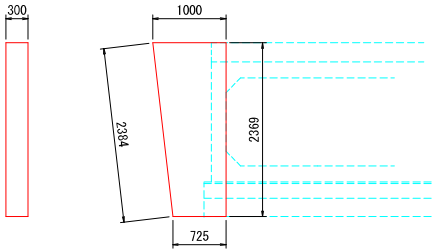


2号調整コンクリート		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.405

工事名	普通河川高下谷川測量設計業務委託		
図面名	構造図(下流工区)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	8/ 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		

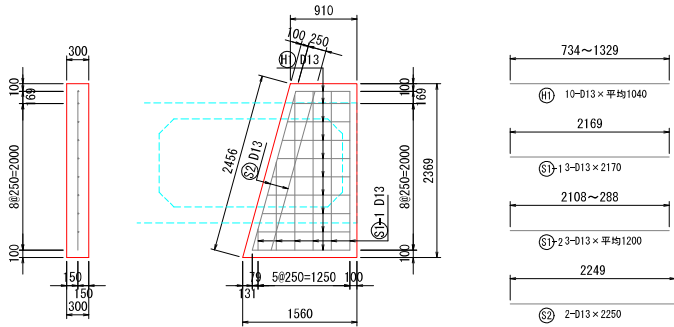
(1工区)

1号小口止工 S=1 : 50
NO. 3+9.4 (左岸)



1号小口止工		1箇所当り材料表	
種 別	規格・寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.613
型 枠	小型	m ²	2.754

1号端止工 S=1 : 50
NO. 3+9.4 (右岸)



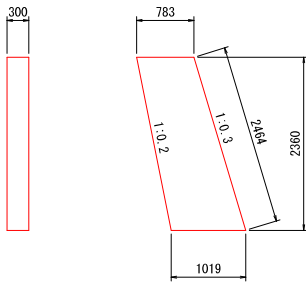
鉄 筋 重 量 表

種別	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	摘要
H1	D13	1040	10	0.995	1.035	10.350	――
S1	D13	2170	3	0.995	2.159	6.477	――
S1-2	D13	1200	3	0.995	1.194	3.582	――
S2	D13	2250	2	0.995	2.239	4.478	――
□ 1.3mm 以下						24.887	Kg
1基当たり重量						24.887	Kg

1号端止工		1箇所当り材料表	
種 別	規格・寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	m ³	0.878
型 枠	枠 小型	m ²	4.374
鉄 筋	SD345 D13mm	kg	24.9

(3工区)

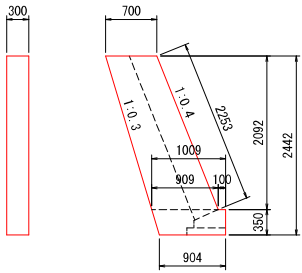
5号小口止工 S=1 : 50
NO. 10+8.7 (左岸)



5号小口止工		1箇所当り材料表	
種 別	規格・寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.638
型 枠	枠 小型	m ²	2.865

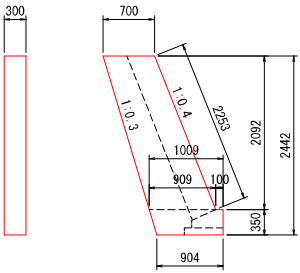
(2工区)

2号小口止工 S=1 : 50
NO. 4+14.431 (左岸)



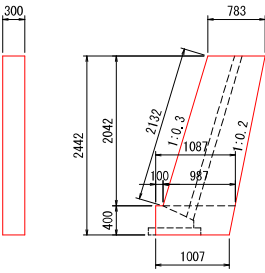
2号小口止工		1箇所当り材料表	
種 別	規格・寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.605
型 枠	枠 小型	m ²	2.807

3号小口止工 S=1 : 50
NO. 5+ 1.931 (左岸)



2号小口止工		1箇所当り材料表	
種 別	規格・寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.605
型 枠	枠 小型	m ²	4.825

4号小口止工 S=1 : 50
NO. 4+14.431 (右岸)

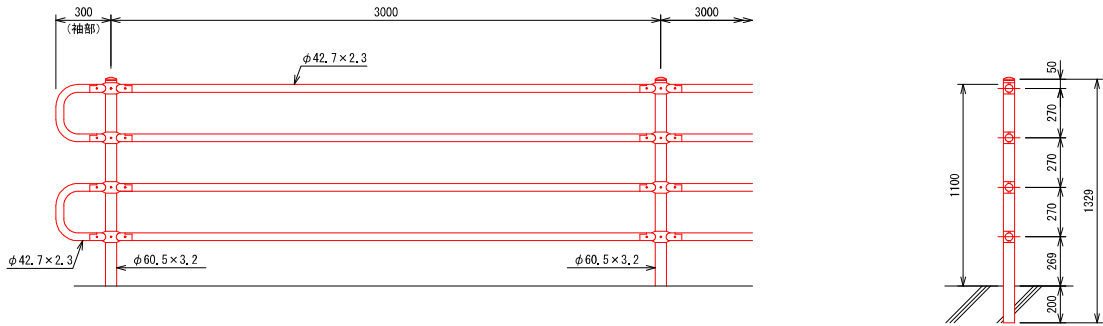


4号小口止工		1箇所当り材料表	
種 別	規格・寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.668
型 枠	枠 小型	m ²	3.079

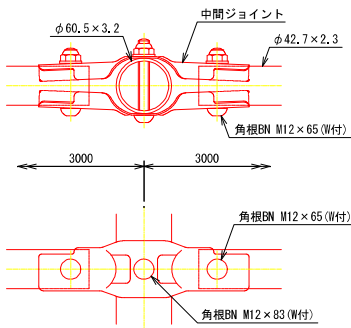
工事名	普通河川高下谷川測量設計業務委託		
図面名	構造図(下流工区)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	9/ 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		

ガードパイプ(転落防止柵) S=1 : 20
(P種, H=1.10)

コンクリート建込用 (W)



中間部取付図 S=1:4

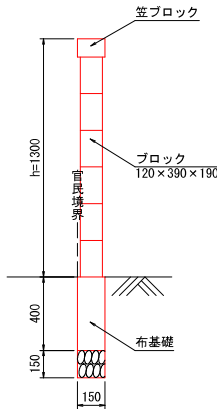


設計条件
設計荷重・・・防護柵の設置基準・同解説のP種に基づく。

備考
1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐腐性樹脂粉体塗装とする。但し、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみとする。

ブロック塀参考図(復旧) S=1 : 20

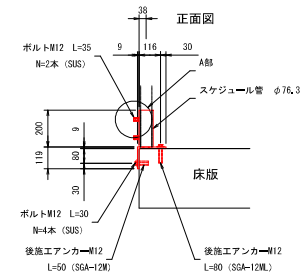
基礎およびブロックは現地と同等のものとする。



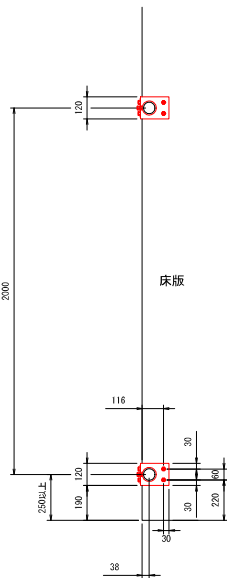
※境界確認要す

布基礎		10m当り材料表	
種 別	規格・寸法	単 位	数 量
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.600
型 枠	小型	m ²	8.000
基礎砕石	RC-40	m ²	1.500
	t=15cm	m ³	0.225

床版取付詳細図 S=1 : 20
(P種, H=1.10)



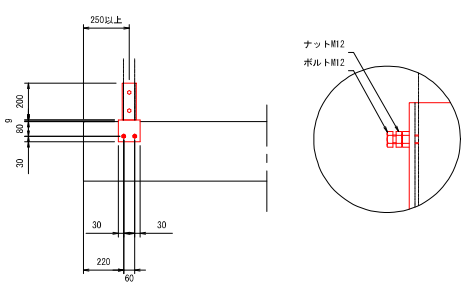
平面図



床版

側面図

A部詳細図



名 称	規 格	材 質	仕 上	数量(金具1箇所当り)
支柱取付金具		S S 400	溶融亜鉛メッキ	1
ボ ル ト	M12 L=35	SUS304		2
ボ ル ト	M12 L=30	SUS304		4
丸 座 金	M12用	SUS304		4
後施工アンカー M12-L50	ドリッパアンカー SGA-12用	SUS304		2
後施工アンカー M12-L50	ドリッパアンカー SGA-12用	SUS304		2

ボルト M12
(SUS304)



ナット M12
(SUS304)



ボルト M12
(SUS304)



ナット M12
(SUS304)



ボルト M12
(SUS304)



座金詳細図
(SUS304)



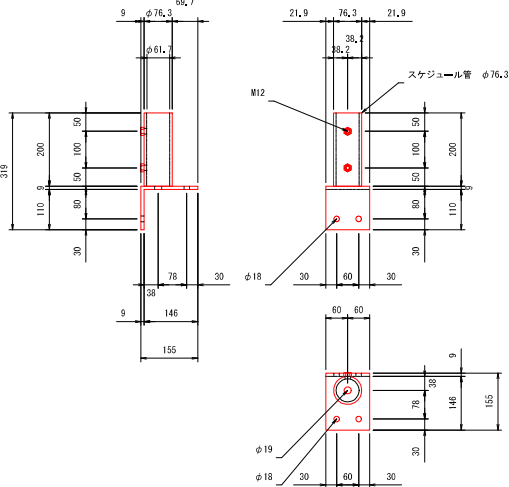
ボルト M12
(SUS304)



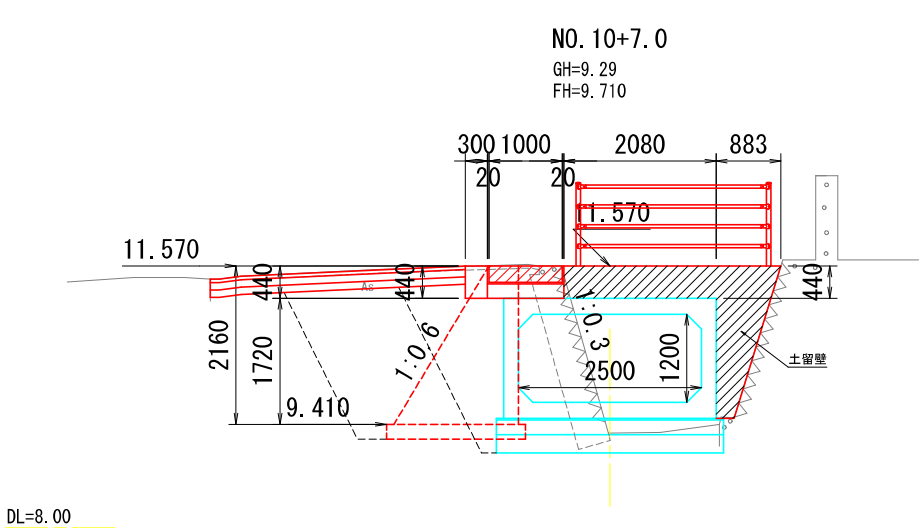
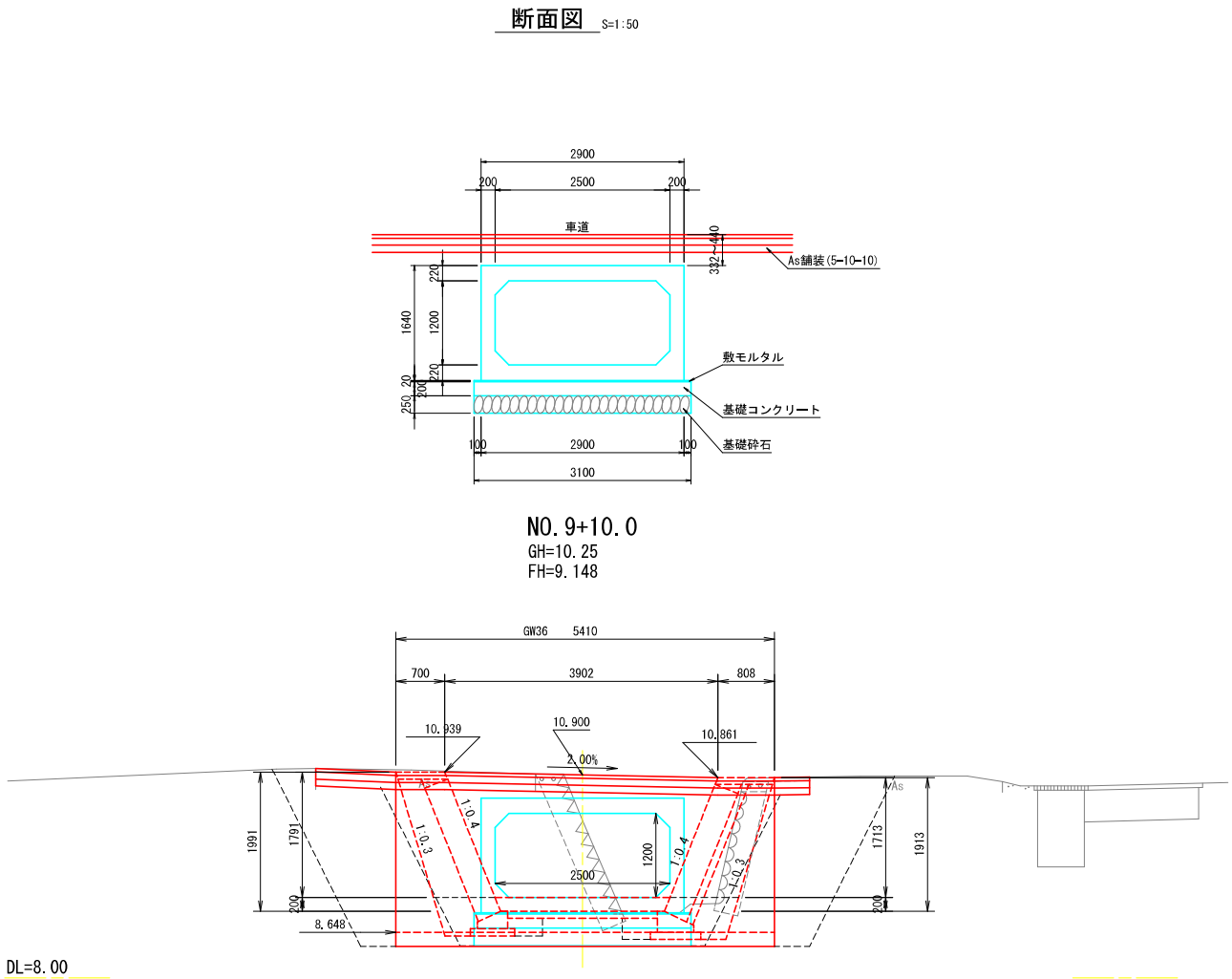
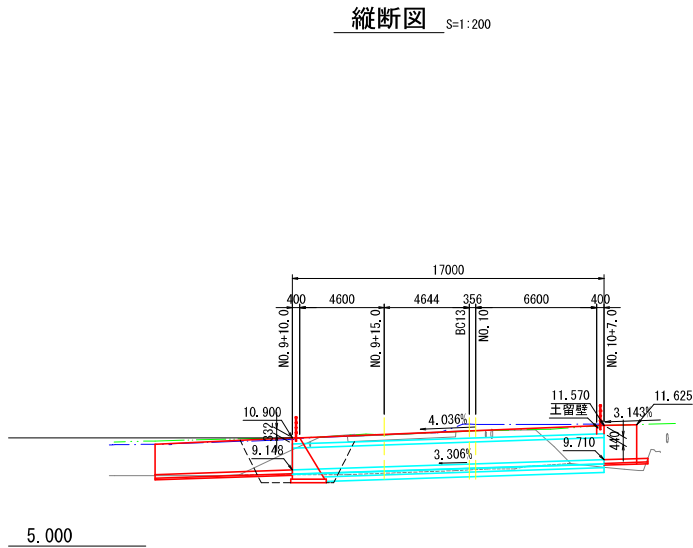
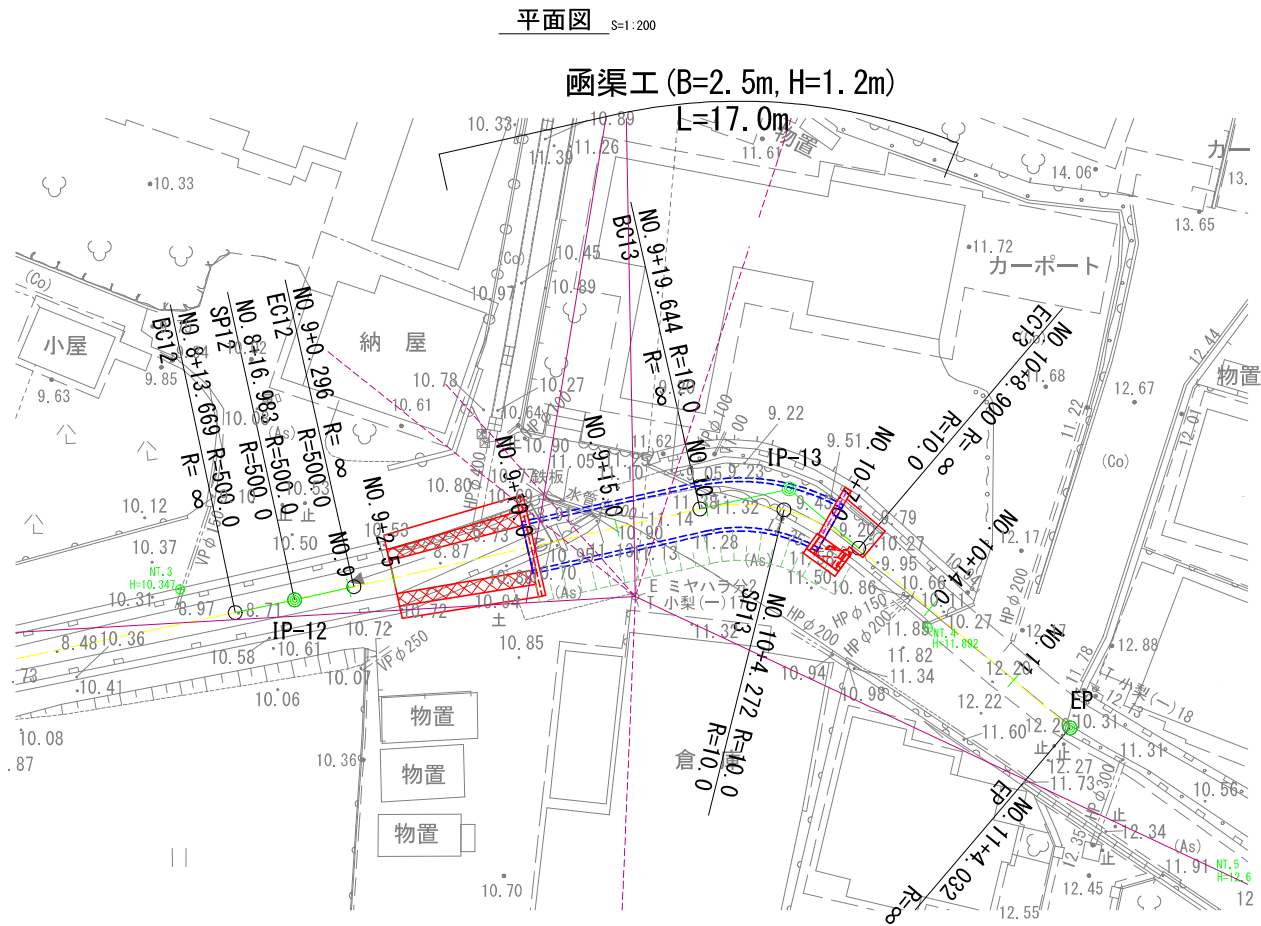
座金詳細図
(SUS304)



支柱径60.5mm用
(溶融亜鉛メッキ)



2号ボックス工一般図
(3工区)



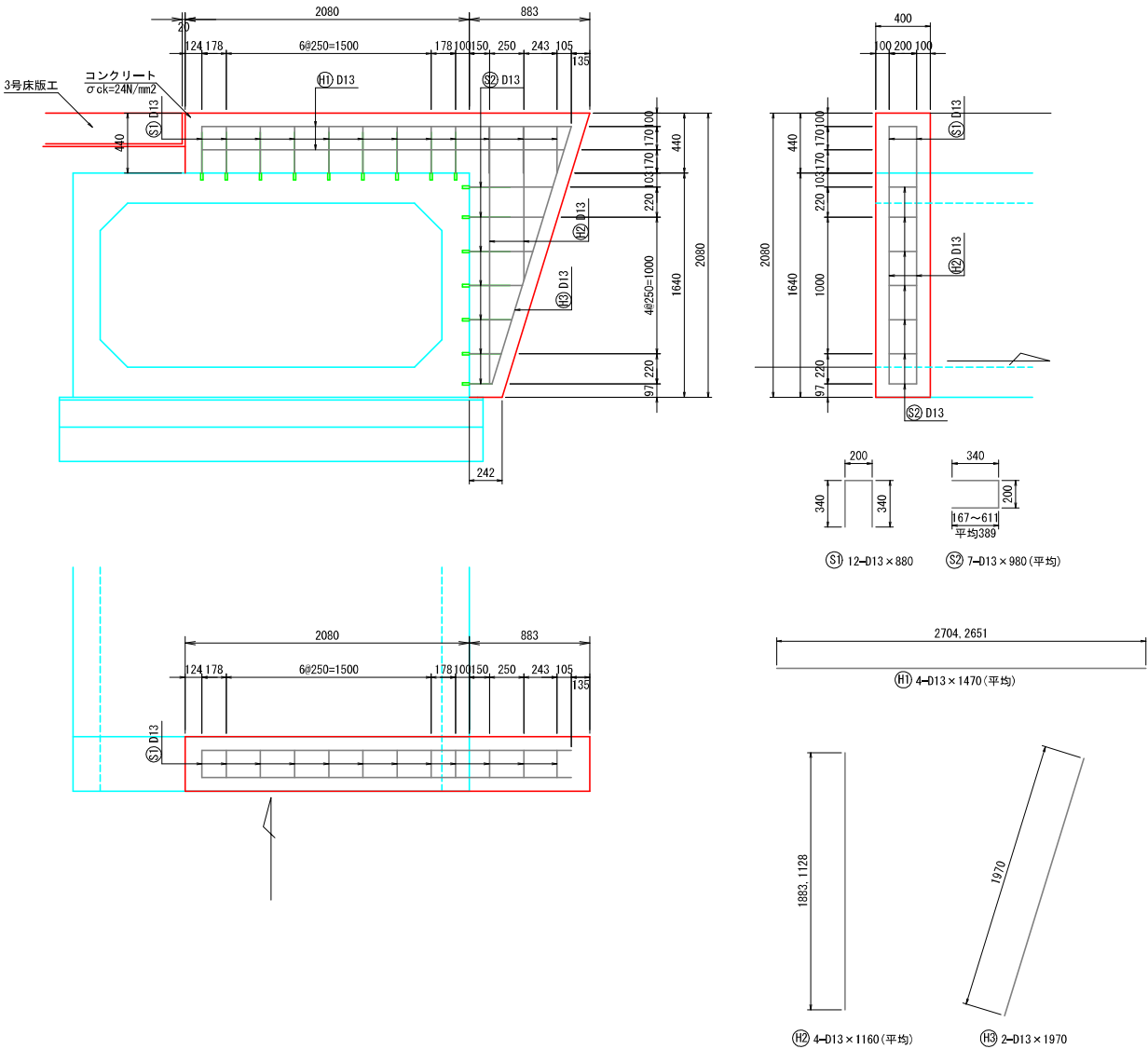
工事名	普通河川高下谷川測量設計業務委託		
図面名	2号ボックス工構造図 (4 / 4)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	S=1/100	図面番号	15 / 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		

2号ボックス工土留壁構造図
(3工区)

土留壁配筋図

S=1:25

(NO. 10+7.0)



土留壁材料表 (1ヶ所当たり) 両岸

名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	σck=24N/mm2	m3	0.656
型 枠	鉄筋構造物	m2	4.592
鉄筋	SD345 D13mm	kg	31.7

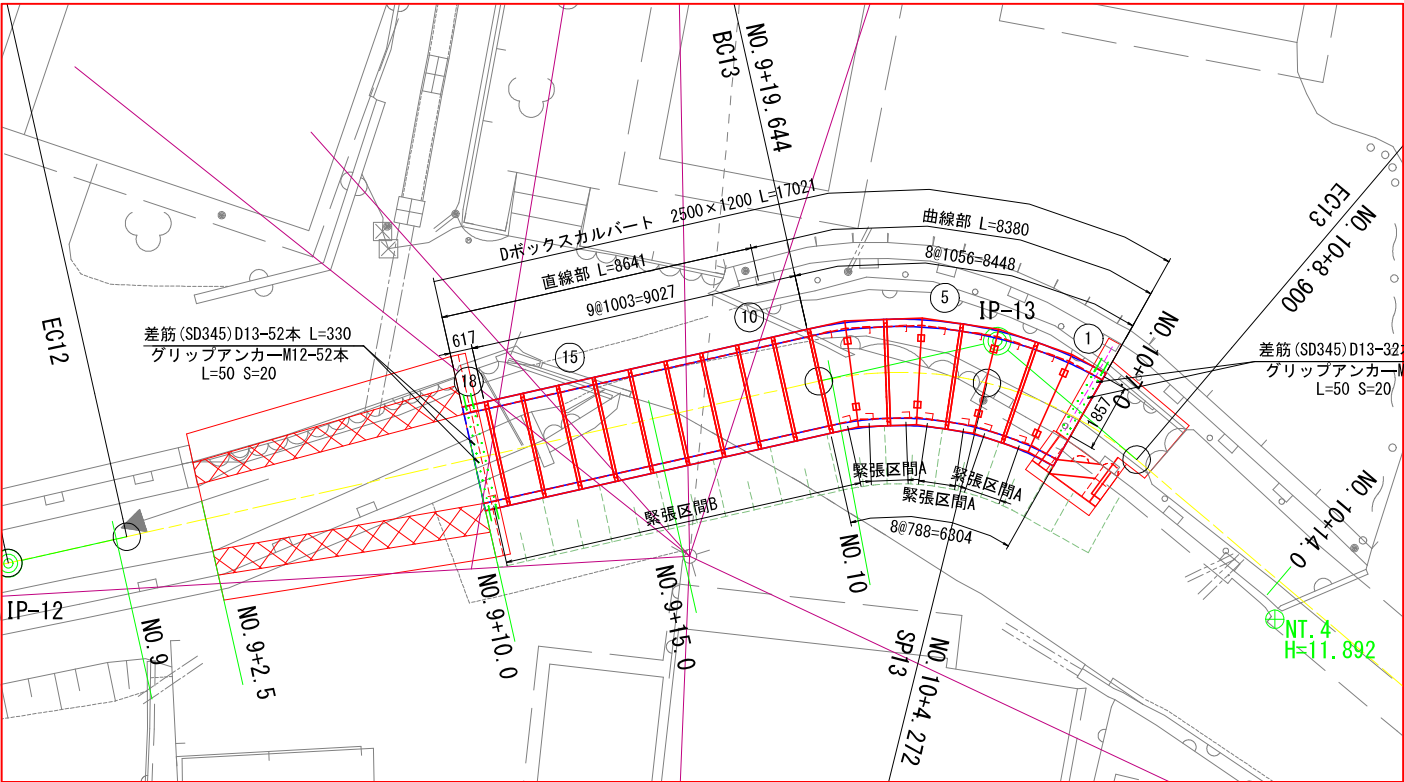
鉄 筋 重 量 表 (両岸)

種別	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	摘要
S1	D13	880	12	0.995	0.876	10.512	□
S2	D13	980	7	0.995	0.975	6.825	□
H1	D13	1470	4	0.995	1.463	5.852	—
H2	D13	1160	4	0.995	1.154	4.616	
H3	D13	1970	2	0.995	1.960	3.920	/
D 13mm 以下						31.725	kg
両岸当たり重量						31.725	kg

工事名	普通河川高下谷川測量設計業務委託		
図面名	2号ボックス工構造図 (4 / 4)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	S=1/100	図面番号	16 / 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		

2号ボックスカルバート参考割付図(1/2)
3工区

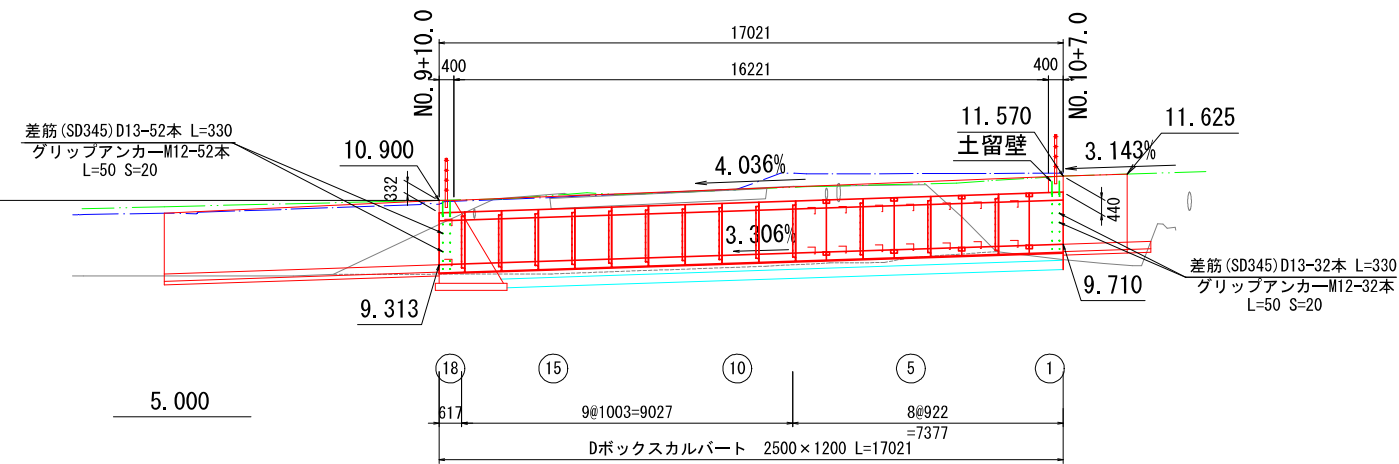
平面図
S=1:100



縦断図
S=1:100

※施工時の延びを3mm見込でいます。
※施工は逆施工で行うこと。
※荷下ろしはNo. 15の位置に製品を降ろすこと。

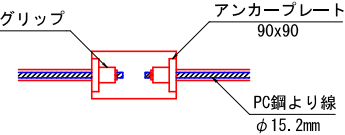
施工方向



※施工時の延びを3mm見込でいます。
※荷下ろしは下流側に製品を降ろすこと。

施工方向

定着部詳細図
S=1:10



緊張力算出式

$$P_t \geq \frac{\mu \cdot w \cdot n}{4} \geq 50 \text{ (kN)}$$

- ※ P_t : プレストレッシング直後の緊張力 (kN)
※ μ : 摩擦係数 (=1.0)
※ w : 製品1本の質量 (kN)
※ n : 1つの連結区間における製品本数
※ 緊張は4本同時に行うものとする
※ $1t = 10kN$
※ 緊張力は115kNとする

ボックスカルバート数量表

名称	規格	番号	本数	参考質量
D-ボックスカルバート	L-1000		9 本	4590 kg
T-25	LM614 箱抜 (R) 差筋付	18	1 本	
2500 × 1200	LM785/1053 箱抜 フランジ金具付	3・5・7	3 本	
グラウト穴付	L01053/785 箱抜 フランジ金具付	2・4・6・8	4 本	
特配筋	LM0785/1053 フランジ金具・差筋付	1	1 本	
合計			18 本	

L0・・・凸残しの平面斜切及び短切 LM・・・凹残しの平面斜切及び短切 LM0・・・凹凸無しの平面斜切及び短切

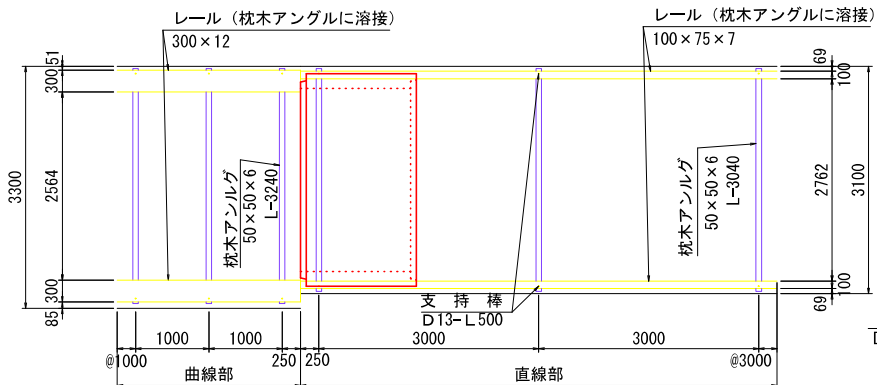
縦締め材料表

名称	規格・詳細	数量
PC鋼より線 φ15.2mm	緊張区間A L=2.3m(余長含む)	12 本
	緊張区間B L=10.9m(余長含む)	4 本
アンカープレート	90×90	32 枚
グリップ	φ15.2mm用	32 個

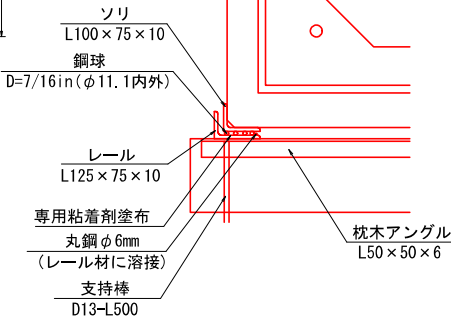
工事名	普通河川高下谷川測量設計業務委託		
図面名	2号ボックス工構造図 (4 / 4)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	S=1/100	図面番号	17 / 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		

ボックスカルバート参考割付図 (2/2)
3工区

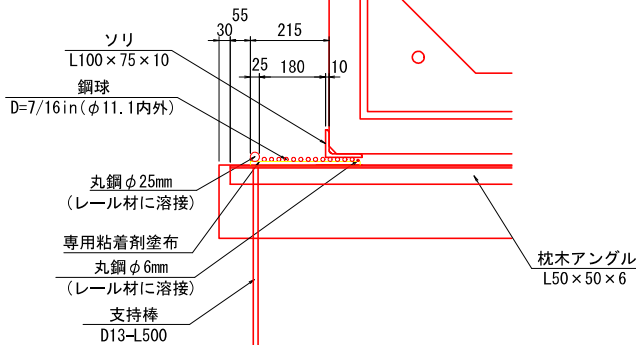
基礎工 平面配置図
S=1:50



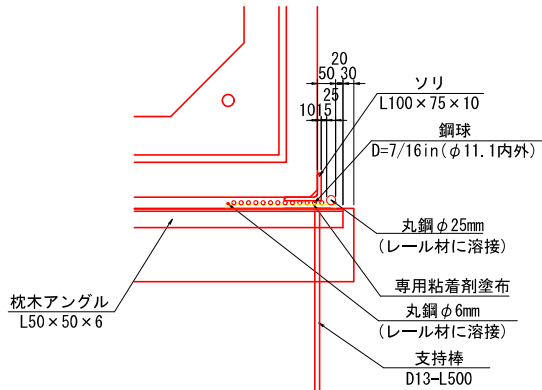
A部詳細図
S=1:10



B部詳細図
S=1:10

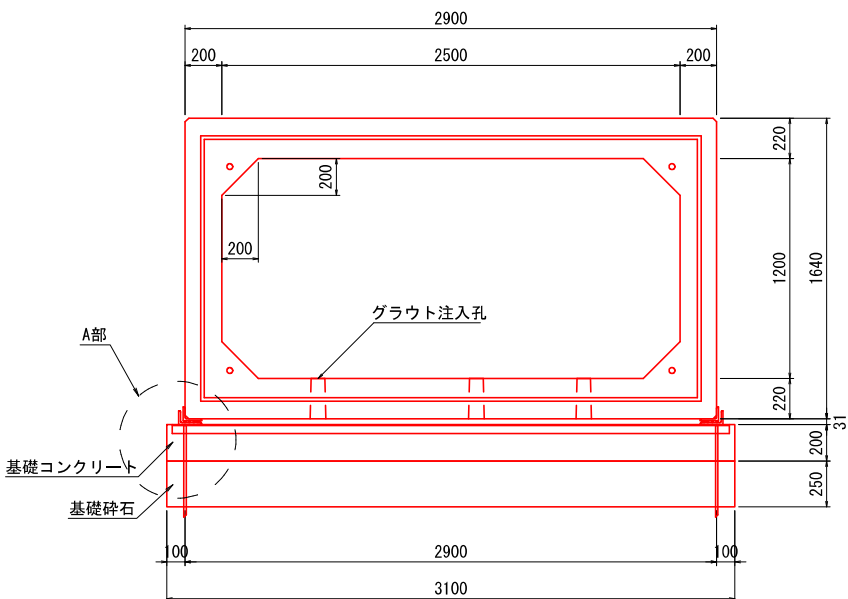


C部詳細図
S=1:10

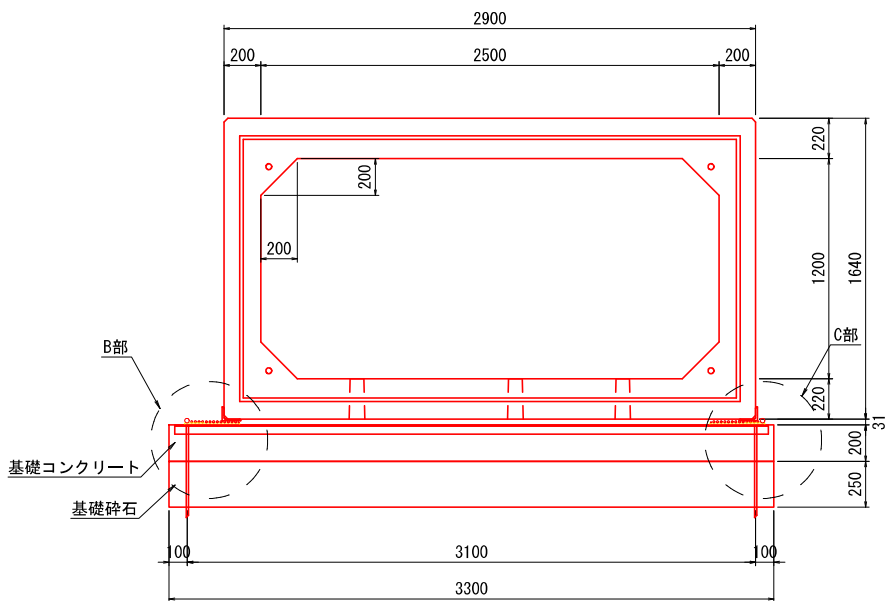


標準断面図
S=1:20

直線部



曲線部



数量表(基礎工)

規格		単位数量		数量	単位	数量	備考
直線部	グラウト工		0.090	m3/m	8.641 m	m3	0.778
	基礎コンクリート		0.620	m3/m		m3	5.357
	同上型枠		0.400	m2/m		m2	3.456
	基礎砕石		3.100	m2/m		m2	26.787
曲線部	グラウト工		0.090	m3/m	8.380 m	m3	0.754
	基礎コンクリート		0.660	m3/m		m3	5.531
	同上型枠		0.400	m2/m		m2	3.352
基礎工	基礎砕石		3.300	m2/m		m2	27.654
	ソリ鋼材	100×75×10			1式	kg	299.000
	枕木アングル	50×50×6			1式	kg	169.581
	鉄筋	D13-L=500	0.498	kg/本	24 本	kg	11.952
直線部	軌道レール	125×75×7	14.900	kg/m	8.641 m	kg	257.502
	クローム鋼球	7/16	0.970	kg/m			16.764
	丸鋼	φ6	0.222	kg/m			3.837
	潤滑剤	専用粘着材	0.089	kg/m			1.538
曲線部	軌道レール	300×12	28.300	kg/m	8.380 m	kg	474.308
	クローム鋼球	7/16	3.300	kg/m			55.308
	丸鋼	φ6	0.222	kg/m			3.721
	丸鋼	φ25	3.850	kg/m			64.526
基礎工	潤滑剤	専用粘着材	0.291	kg/m		kg	4.877
	専用粘着材						

数量表(ソリ鋼材)

規格			算式		数量		備考
ソリ鋼材	100×75×10×700	18本	0.700×13.000×18		163.800	kg	L=1000用
	100×75×10×400	2本	0.400×13.000×2		10.400	kg	L=614用
	100×75×10×500	8本	0.500×13.000×8		52.000	kg	L=785用
	100×75×10×700	8本	0.700×13.000×8		72.800	kg	L=1053用
合計					299.000	kg	

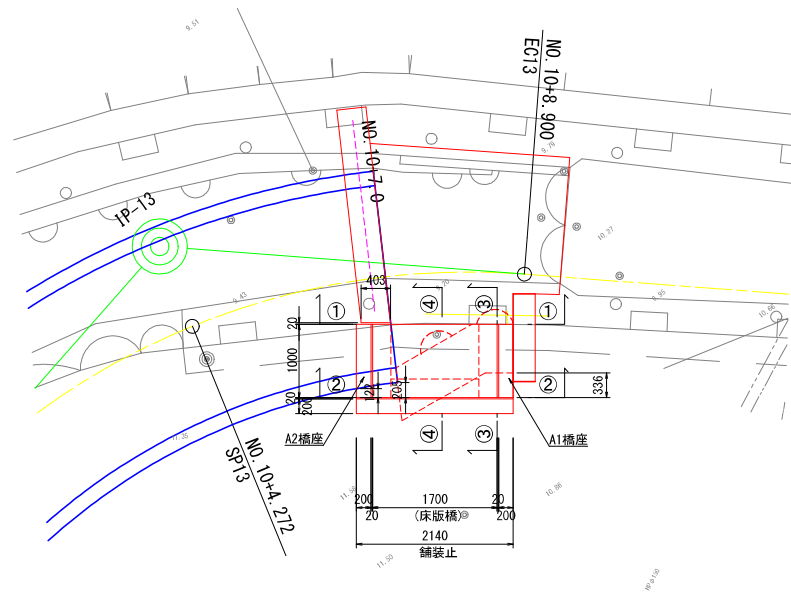
数量表(枕木アングル)

規格			算式		数量		備考
枕木アングル	50×50×6×3040	-3本	3.040×4.430×3		40.402	kg	8.641/3.0=3
	50×50×6×3240	-9本	3.240×4.430×9		129.179	kg	8.380/1.0=9
合計					169.581	kg	

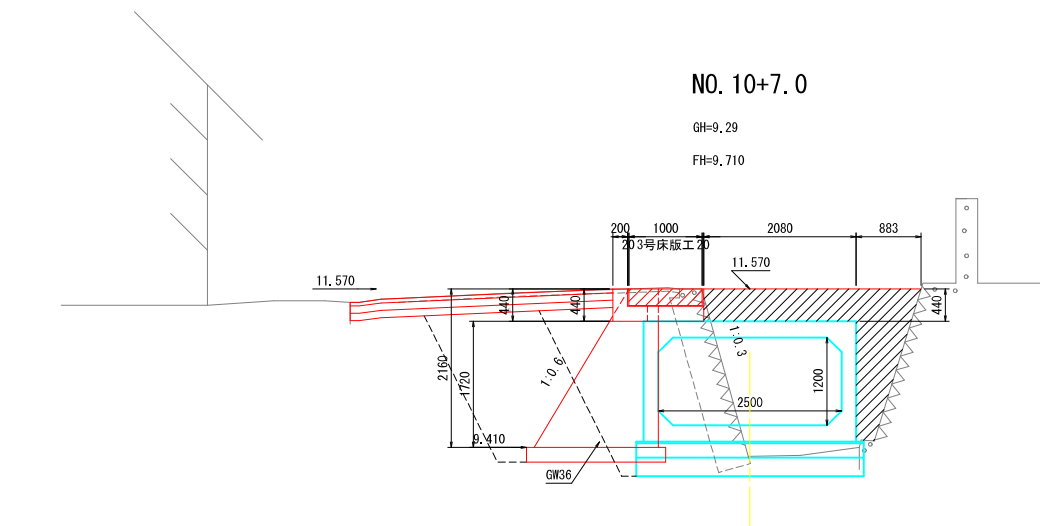
工事名	普通河川高下谷川測量設計業務委託		
図面名	2号ボックス工構造図 (4 / 4)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	S=1/100	図面番号	18 / 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		

3号床版工一般図
(3工区)・・・T-25

平面図 S=1:50



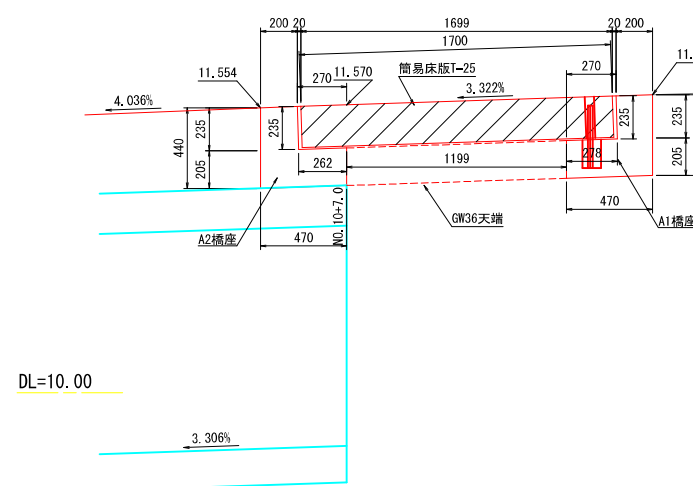
横断面図 S=1:50



DL=8.00

①-①

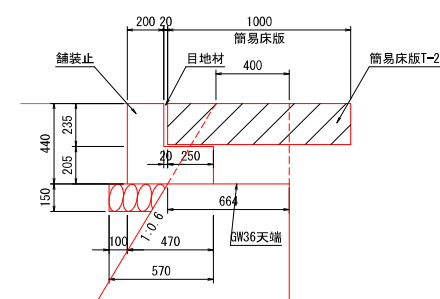
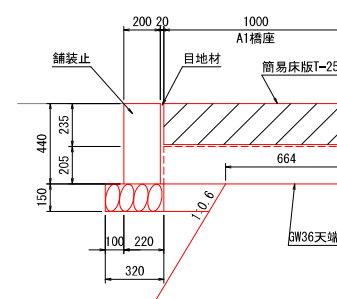
②-②



DL=10.00

③-③

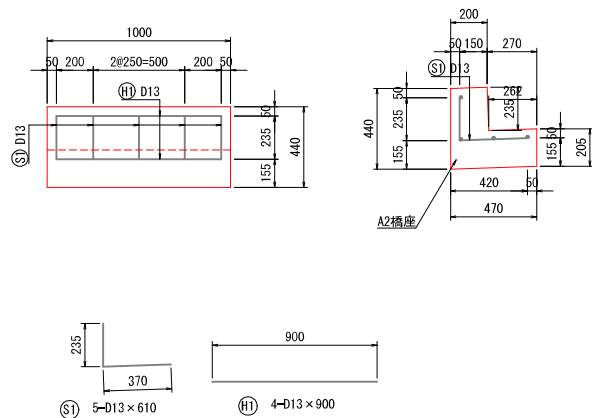
④-④



工事名	普通河川高下谷川測量設計業務委託		
図面名	3号床版工構造図 (1 / 3)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	25 / 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		

3号床版工配筋図
(3工区)

A2橋座配筋図

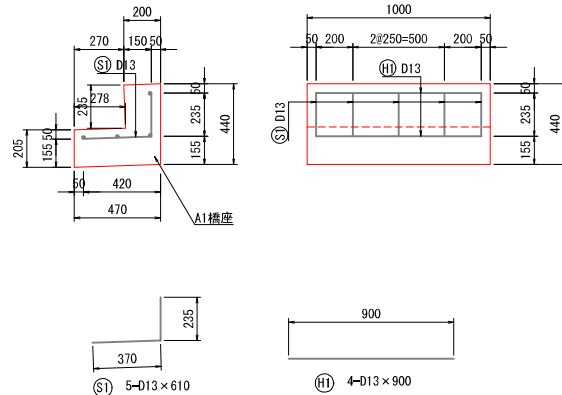


鉄筋重量表

種別	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	摘要
S1	D13	610	5	0.995	0.607	3.035	1
H1	D13	900	4	0.995	0.896	3.584	1
						6.619	Kg
						6.619	Kg

A1橋座配筋図

S=1:20

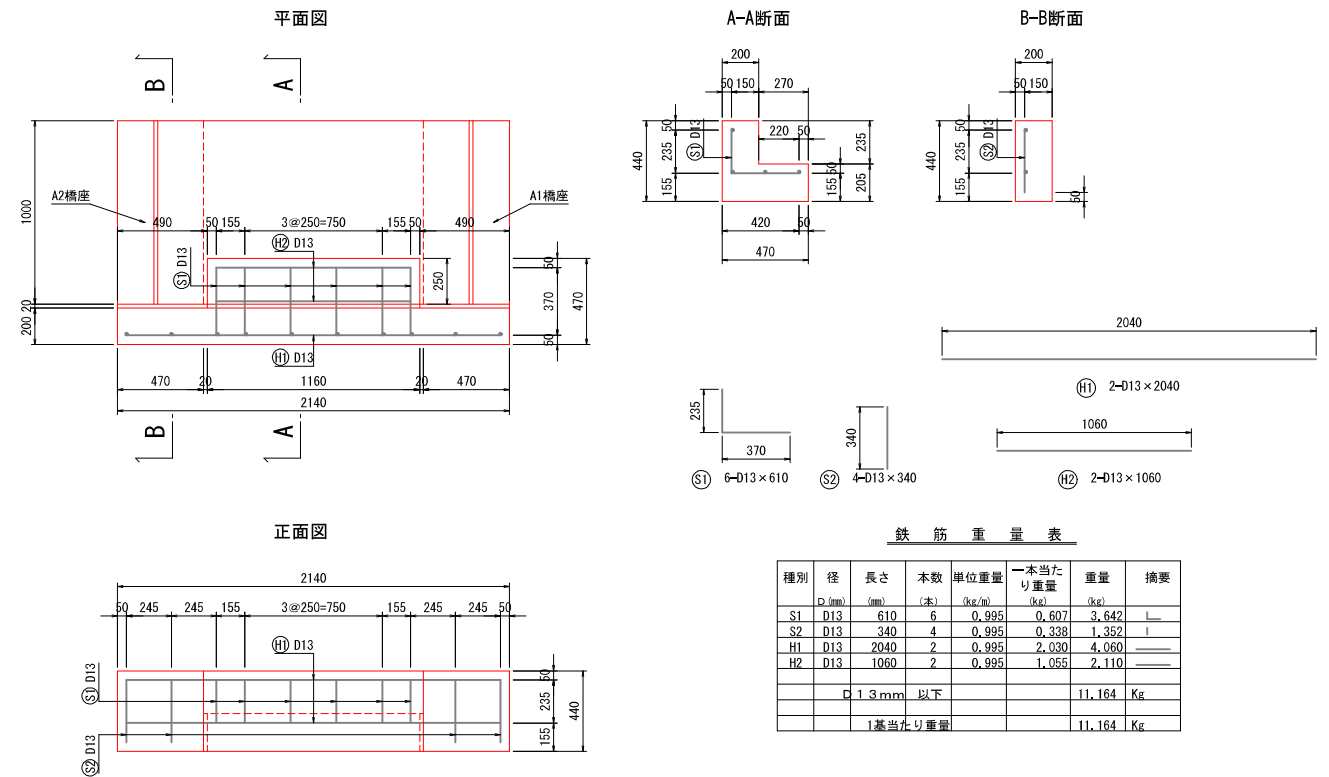


鉄筋重量表

種別	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	摘要
S1	D13	610	5	0.995	0.607	3.035	1
H1	D13	900	4	0.995	0.896	3.584	1
						6.619	Kg
						6.619	Kg

舗装止配筋図

S=1:20



鉄筋重量表

種別	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	摘要
S1	D13	610	6	0.995	0.607	3.642	1
S2	D13	340	4	0.995	0.338	1.352	1
H1	D13	2040	2	0.995	2.030	4.060	1
H2	D13	1060	2	0.995	1.055	2.110	1
						11.164	Kg
						11.164	Kg

舗装止材料表 (1基当たり)

名 称	規 格	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	m3	0.252
型 枠	小型	m2	2.059
基礎砕石	RC-40, t=15cm	m3	0.010
支承材	t10-150×200 SBR	枚	5
エラストイト	t=20mm	m3	0.8
鉄筋	SD345 D13mm	kg	11.2

A1A2橋座材料表 (1基当たり)

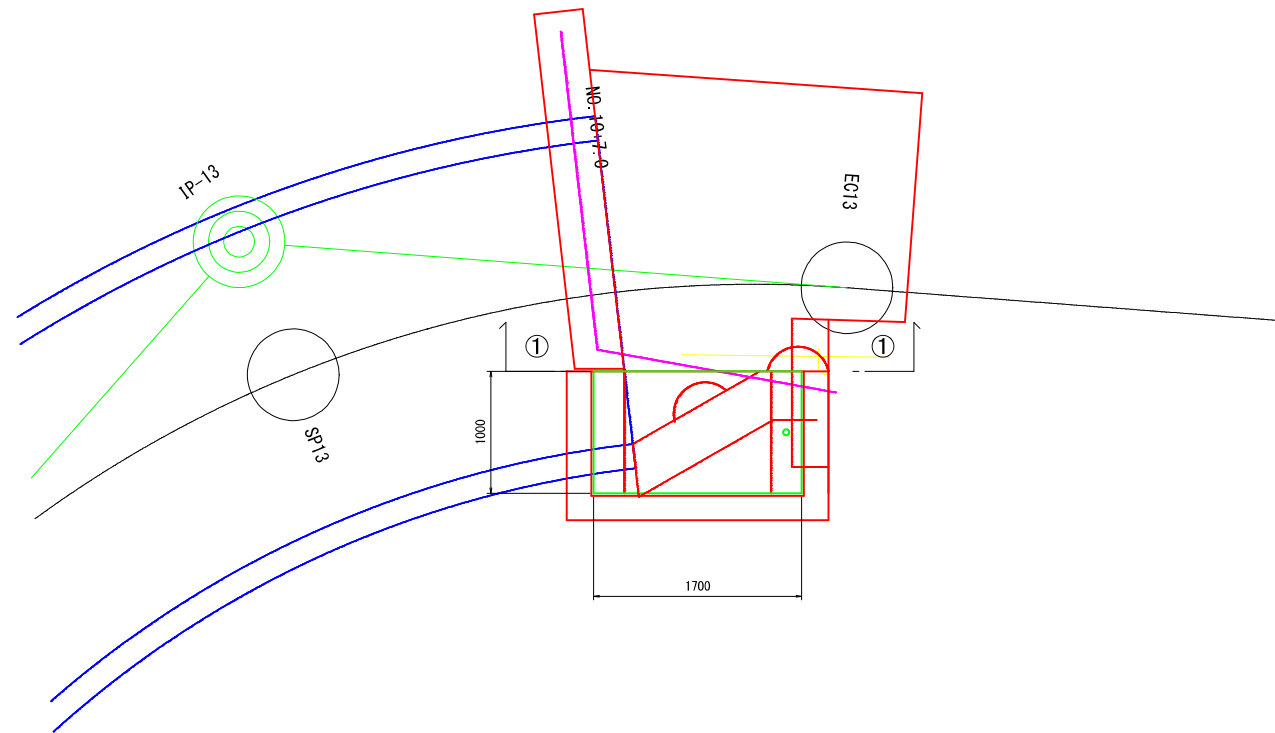
名 称	規 格	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	m3	0.286
型 枠	小型	m2	2.332
基礎砕石	RC-40, t=15cm	m3	0.050
目地材	t=20mm	m2	0.179
鉄筋	SD345 D13mm	kg	13.2

工事名	普通河川高下谷川測量設計業務委託		
図面名	3号床版工構造図 (2 / 3)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	26 / 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		

(3工区) . . . T-25

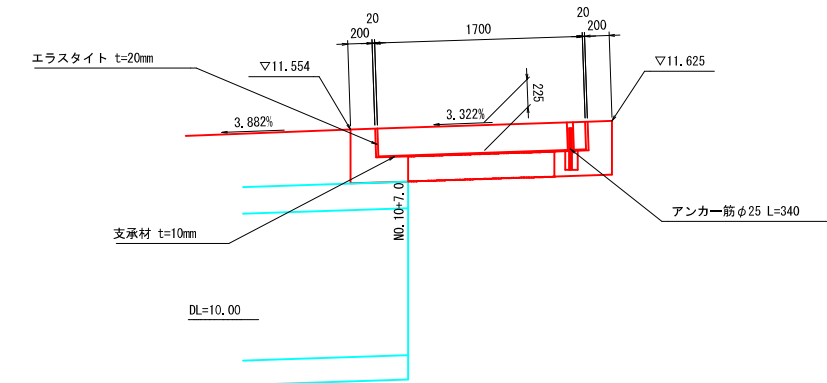
平面图

S=1 : 30



① - ① 断面图

S=1 : 30



簡易床版数量表

名称	規格	数量	単位	備考
簡易床版 T-25	SS-225-1,700 B=1,000	1	本	アンカー穴
			本	
合計		1	本	

簡易床版材料表

名称	規格	数量	単位
支承材	t10~150×200 SBR	8	枚
アンカー穴保護材	EPDM t15×15~300 片面粘着付	1	本
エラストイト	t=20mm	0.470	m2
アンカー筋	φ25 L=340	1	本

工事名	普通河川高下谷川測量設計業務委託		
図面名	3号床版工構造図（ 3 / 3 ）		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	27 / 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		

S=1:100

最下流床版取付

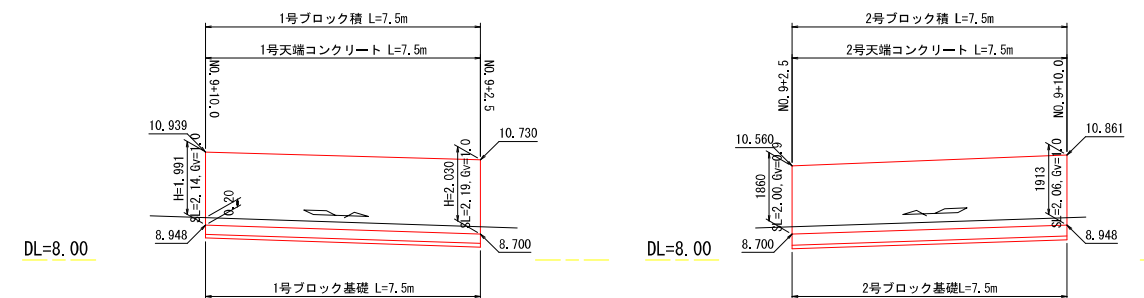
[illegible]

Technical drawing of a bridge cross-section. The drawing shows a rectangular structure with a central opening. The total width is 3.0. The central opening has a width of 1.735. The height of the structure is 1.680. The height of the central opening is 1.735. The drawing includes labels for dimensions and levels: SGW74 L=3.0m, DL=5.00, and ▽河床. The drawing also shows a 20-degree angle and various offset measurements.

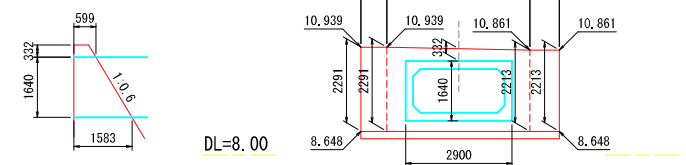
[illegible][illegible]

1号ブロック積(左岸)

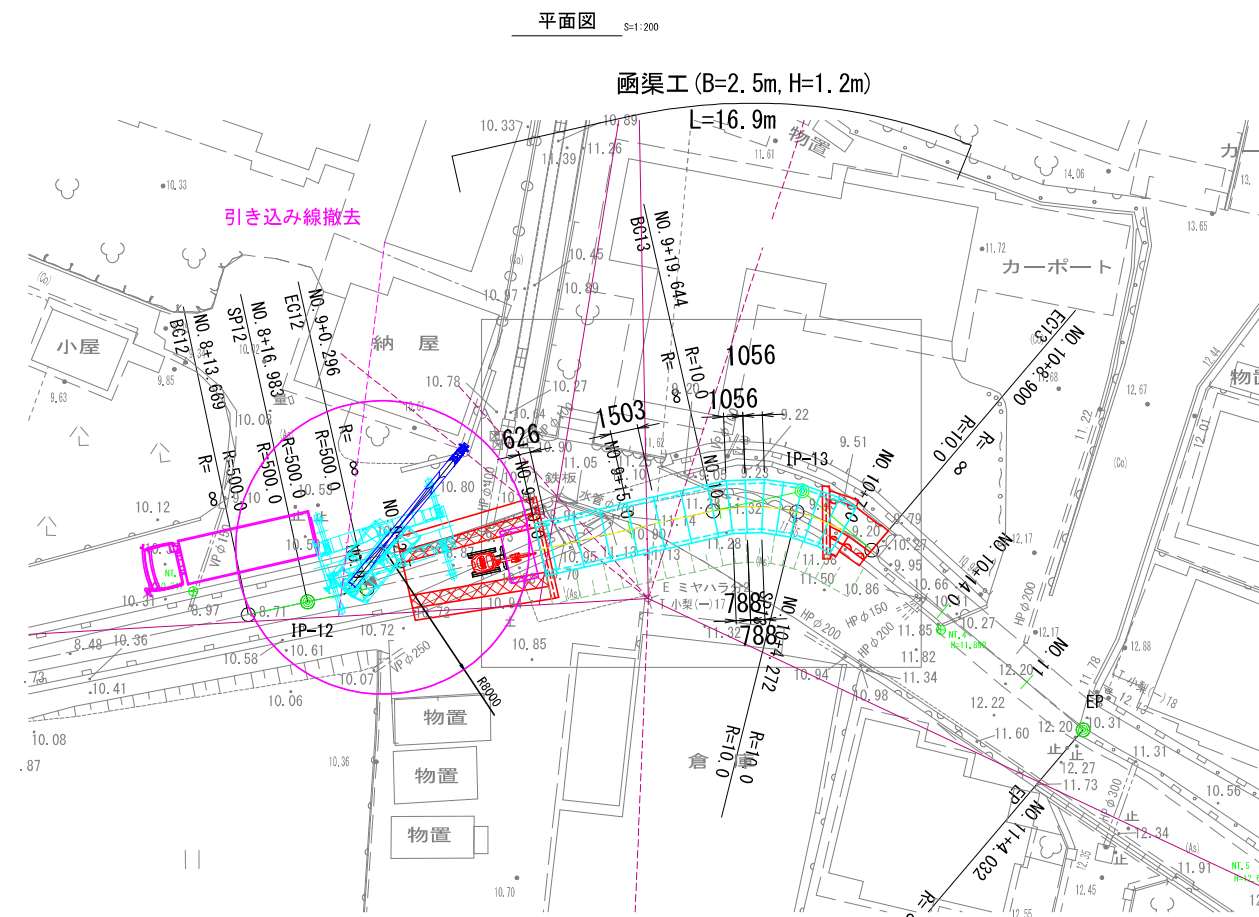
2号ブロック積(右岸)



(ボックス控除断面)

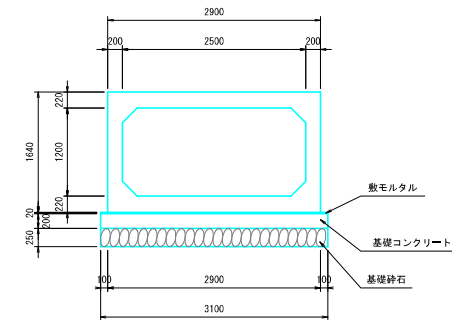


工事名	普通河川高下谷川測量設計業務委託		
図面名	護岸工展開図		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	28 / 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		



平面图 $S=1:200$

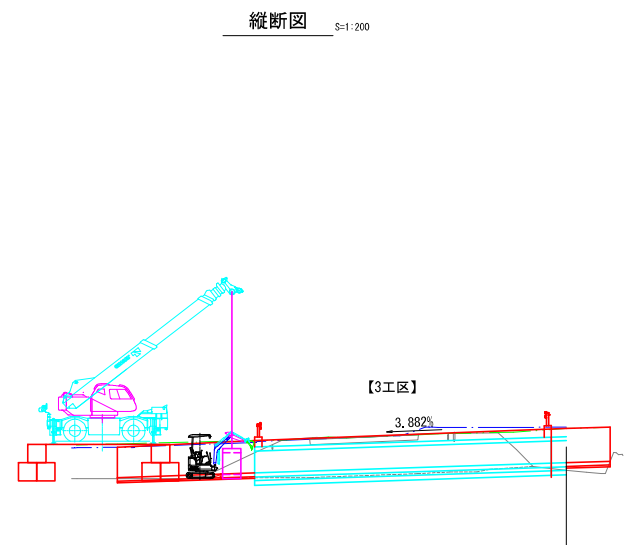
断面図 $S=1:50$



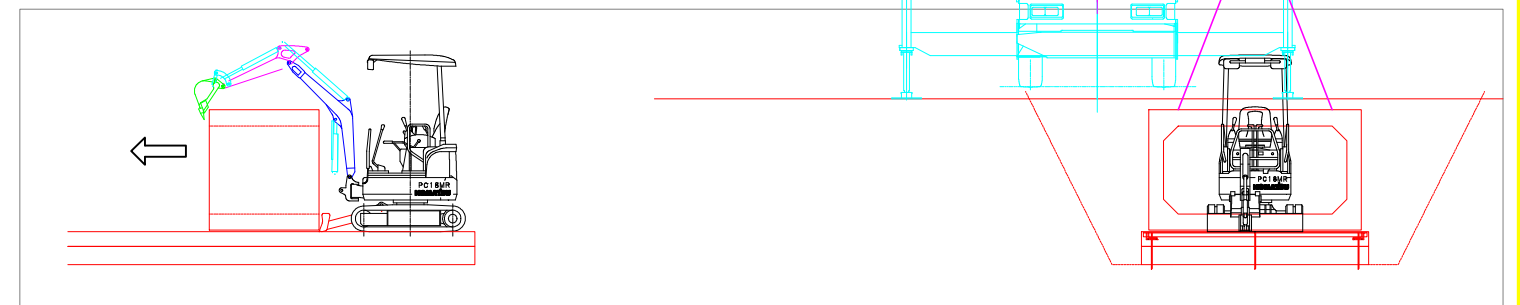
プレキャストボックスの施工について
 プレキャストボックス 2500×1200 最大重量はR部の役物になる。
 L=1053/785 4,221kg

据付に使用するクレーン 25 t 吊り
アウトリガー中間張出 作業半径 8.0m

横引工法での施工になるため、基礎上にミニバックホウ 0.044m³を配置しクレーンで基礎上に仮置きした製品を排土板およびアームで慎重に施工方向に搬送していく。



縦断面図 S=1:200



工事名	普通河川高谷下谷川測量設計業務委託		
図面名	施工計画図(3工区)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	S=1/100	図面番号	30 / 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		

1 IP-1
IA = 14-31-19
R = 15
TL = 1,424
CL = 3,828
SL = 0,123

2 IP-2
IA = 7-22-42
R = 15
TL = 0,967
CL = 1,832
SL = 0,031

3 IP-3
IA = 18-48-23
R = 12
TL = 1,467
CL = 3,839
SL = 0,163

4 IP-4
IA = 46-01-06
R = 12
TL = 5,096
CL = 9,638
SL = 1,037

5 IP-5
IA = 16-29-22
R = 30
TL = 4,347
CL = 8,634
SL = 0,313

6 IP-6
IA = 31-57-01
R = 10
TL = 2,863
CL = 5,576
SL = 0,400

7 IP-7
IA = 16-49-37
R = 30
TL = 4,437
CL = 8,811
SL = 0,326

8 IP-8
IA = 9-45-29
R = 50
TL = 4,297
CL = 8,574
SL = 0,164

9 IP-9
IA = 3-23-30
R = 200
TL = 5,921
CL = 11,839
SL = 0,088

10 IP-10
IA = 16-10-39
R = 30
TL = 4,799
CL = 9,518
SL = 0,381

11 IP-11
IA = 5-47-53
R = 50
TL = 2,332
CL = 5,060
SL = 0,064

12 IP-12
IA = 0-45-34
R = 500
TL = 3,313
CL = 6,627
SL = 0,011

13 IP-13
IA = 53-01-50
R = 10
TL = 4,989
CL = 9,756
SL = 1,175



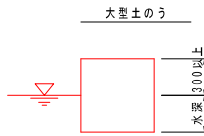
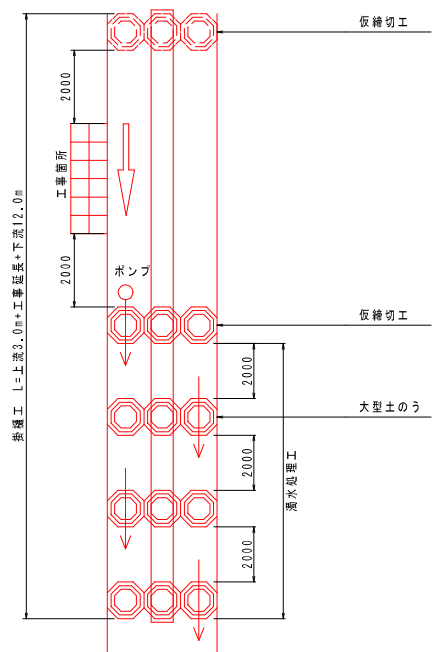
S=1:500

1,2工区施工時の迂回路

3工区施工時の迂回路

工事名	普通河川高下谷川測量設計業務委託		
図面名	仮設計画平面図（下流地区）		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	1/500	図面番号	31/ 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		

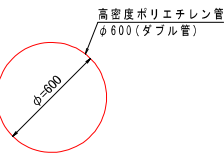
濁水処理(河床幅3m未満)



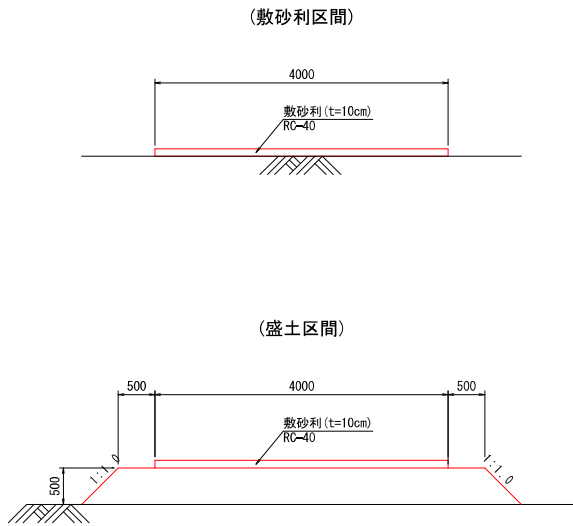
掛樋工 (施工区間) S=1:20



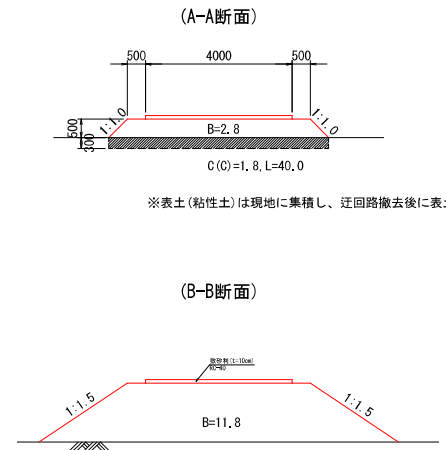
掛樋工 (迂回路川渡) S=1:20



迂回路 (W=4.0m) S=1:50

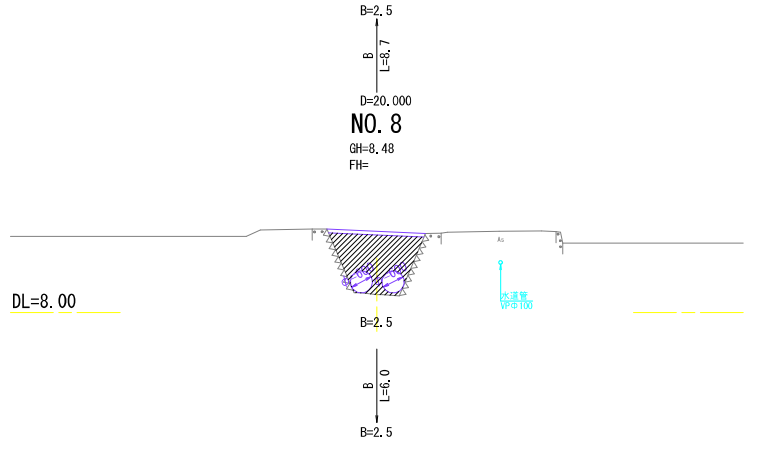


3工区迂回路 S=1:50

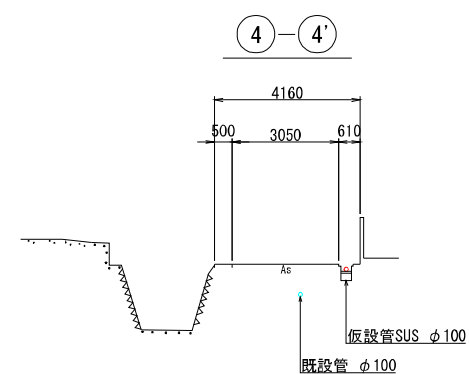


※表土(粘性土)は現地に集積し、迂回路撤去後に表土を敷き戻す。

(川渡)



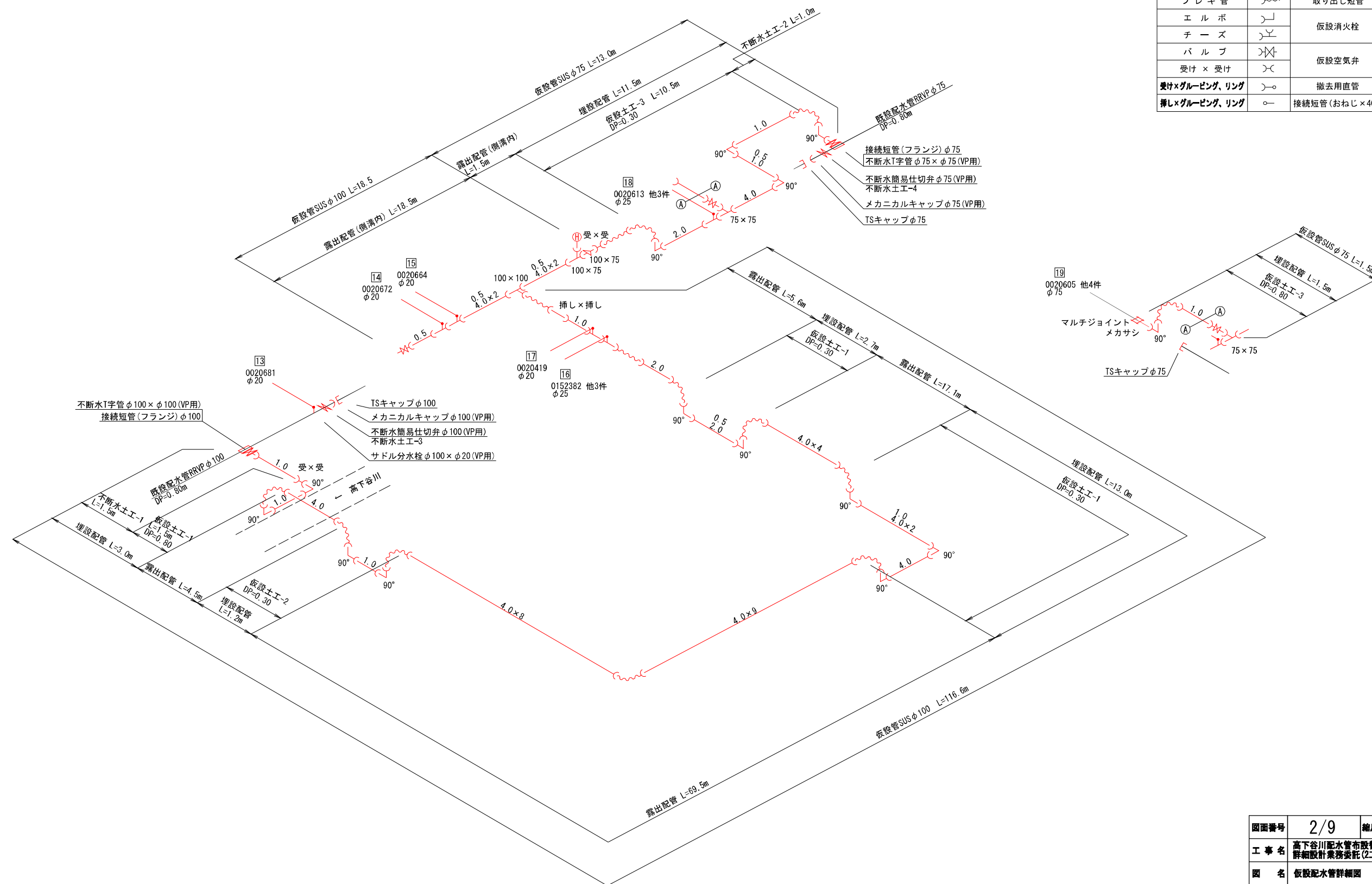
工事名	普通河川高下谷川測量設計業務委託		
図面名	仮設工構造図(下流工区)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	32/ 37
会社名	株式会社 日航コンサルタント		
事業者名	竹原市		



図面番号	1/9	縮尺	図示
工事名	高下谷川配水管布設替 詳細設計業務委託(2工区)		
図名	平面図、横断面		
工事箇所	竹原市下野町		
事業者名	広島県水道広域連合企業団 竹原事務所		

仮設配水管詳細図 S=Free
仮設管SUS（リース管）

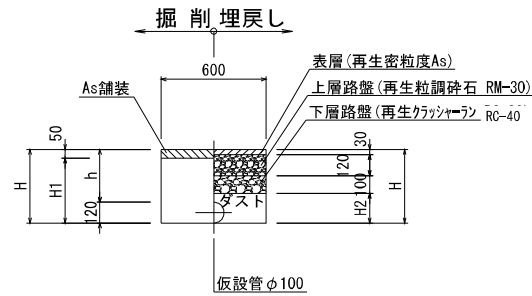
REPCS-G型資材表記一覧			
資材名称	記号	資材名称	記号
直管	—	レジャーサー	—
フレキ管	〰	取り出し短管	—
エルボ	┐	仮設消火栓	⊕
チーゾ	└		
バルブ	⌵	仮設空気弁	Ⓐ
受け × 受け	⌵		
受け×グルーピング、リング	—○	撤去用直管	—○
挿し×グルーピング、リング	—○	接続短管（おねじ×40）	—■



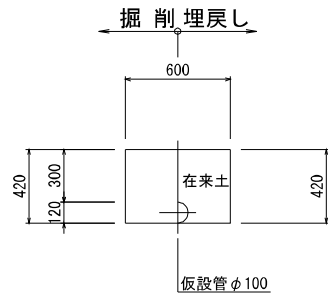
図面番号	2/9	縮尺	Free
工事名	高下谷川配水管布設替 詳細設計業務委託(2工区)		
図名	仮設配水管詳細図		
工事箇所	竹原市下野町		
事業者名	広島県水道広域連合企業団 竹原事務所		

土工図 S=1:20

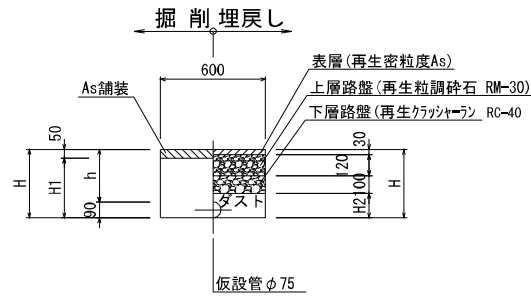
仮設土工-1
市道車道As・宅内As



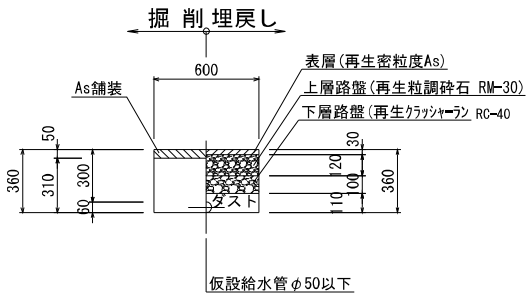
仮設土工-2
未舗装



仮設土工-3
市道車道As

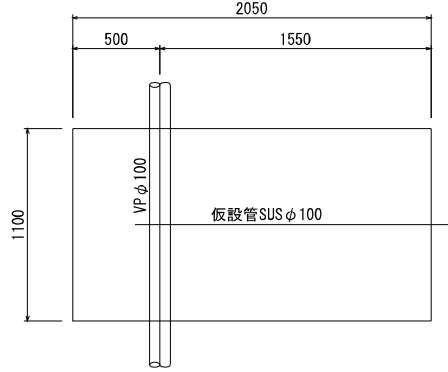


仮設給水土工-1
市道車道As



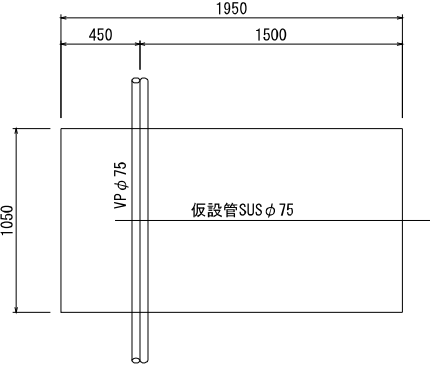
不断水土工-1
φ100×φ100

市道車道As



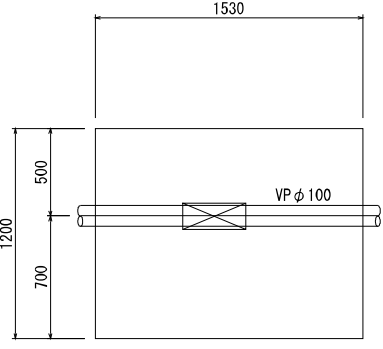
不断水土工-2
φ75×φ75

市道車道As



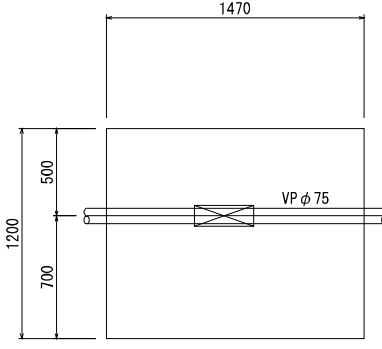
不断水土工-3
不断水仕切弁 φ100

市道車道As

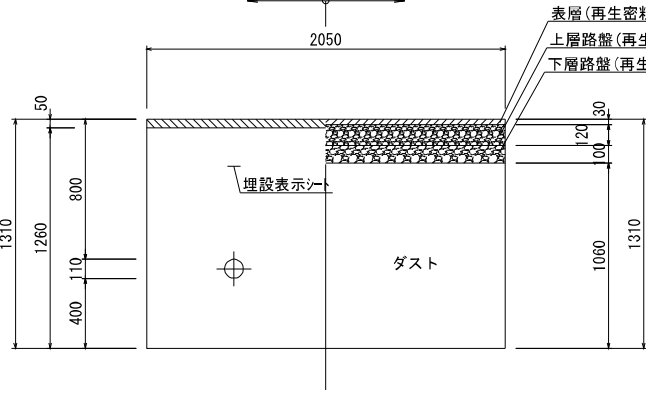


不断水土工-4
不断水仕切弁 φ75

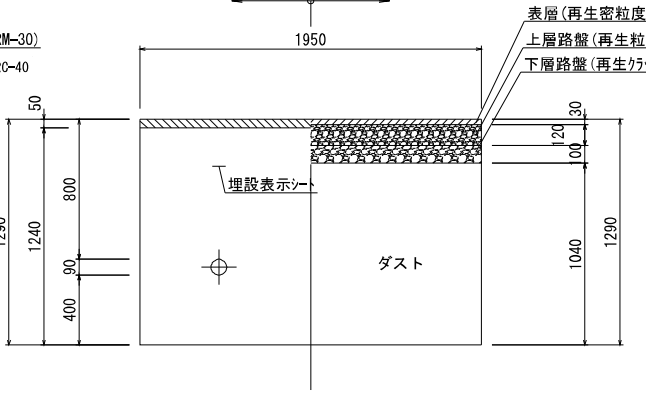
市道車道As



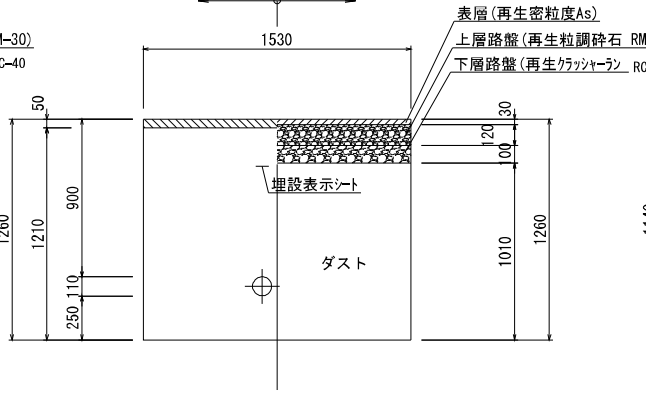
掘削埋戻し



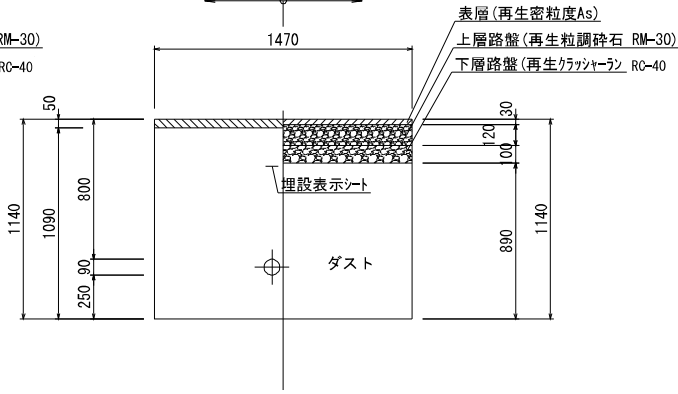
掘削埋戻し



掘削埋戻し



掘削埋戻し



図面番号	3/9	縮尺	1:20
工 事 名	高下谷川配水管布設替 詳細設計業務委託(2工区)		
図 名	土工図		
工事箇所	竹原市竹原町		
事業者名	広島県水道広域連合企業団 竹原事務所		

平面図 S=1/300

新設配水管HPPE φ100 L=171.91m(174.38m)

新設配水管HPPE φ75
L=9.00m(9.03m)

撤去仮設配水管SUS(リース管)
100A L=18.5m 80A L=13.0m

支障移転部 HPPE φ100
L=42.01m

撤去仮設配水管SUS(リース管)100A L=116.6m

拡大図

拡大図

止

不断水連絡工φ100×φ100
不断水簡易仕切弁φ100

新設配水管HPPE φ100
L=0.73m(0.73m)

横断図 S=1/100

①—①'

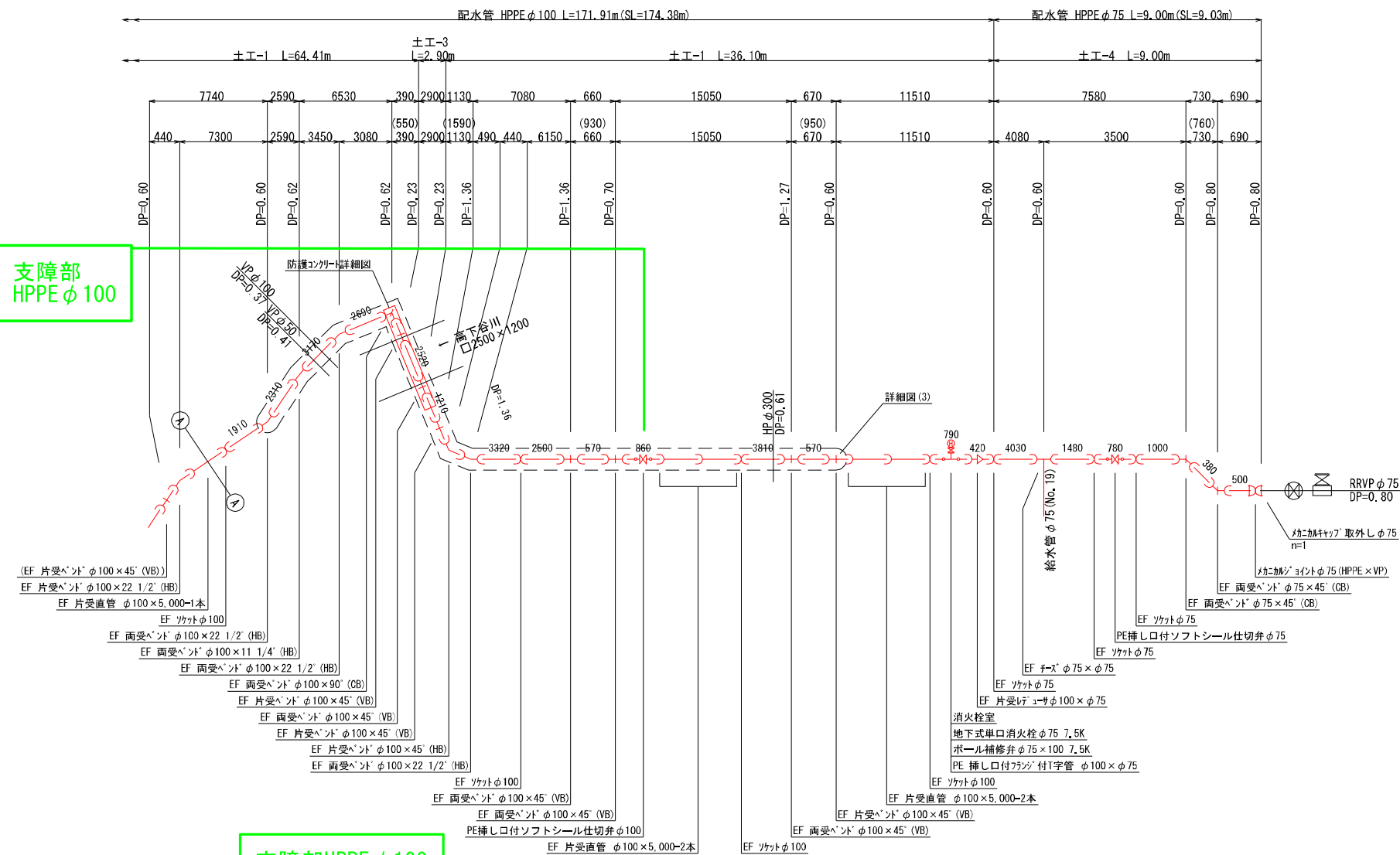
②—②'

③—③'

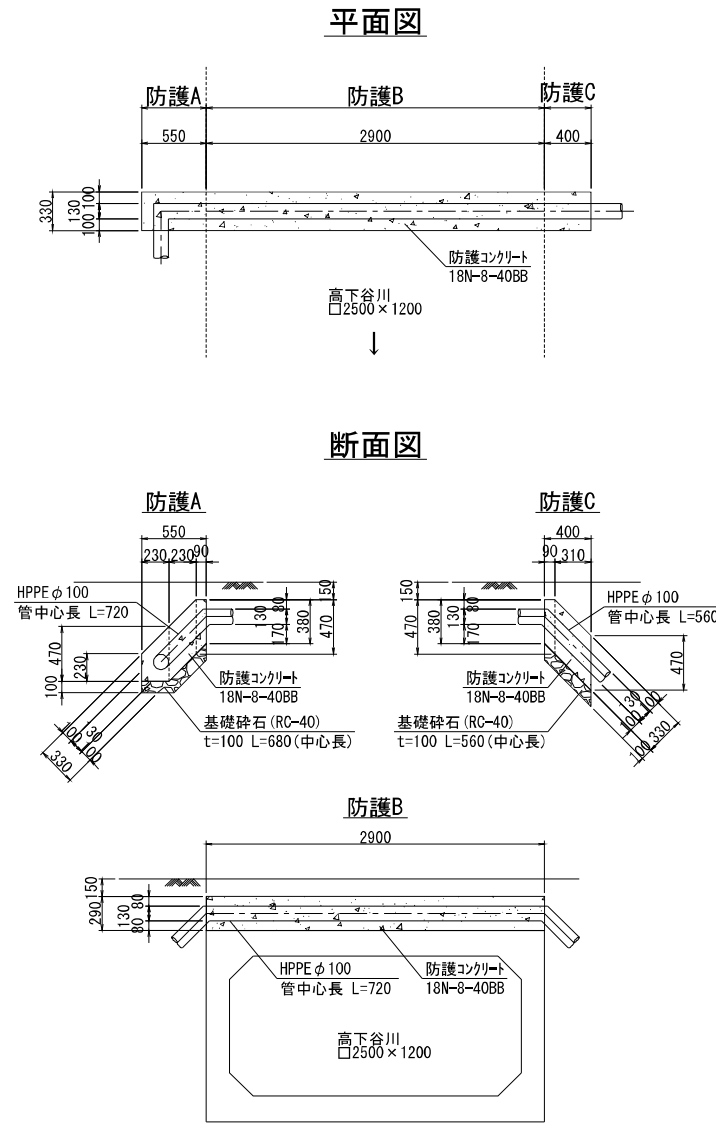
④—④'

図面番号	4/9	縮尺	図示
工事名	高下谷川配水管布設替 詳細設計業務委託(2工区)		
図名	平面図、横断図		
工事箇所	竹原市下野町		
事業者名	広島県水道広域連合企業団 竹原事務所		

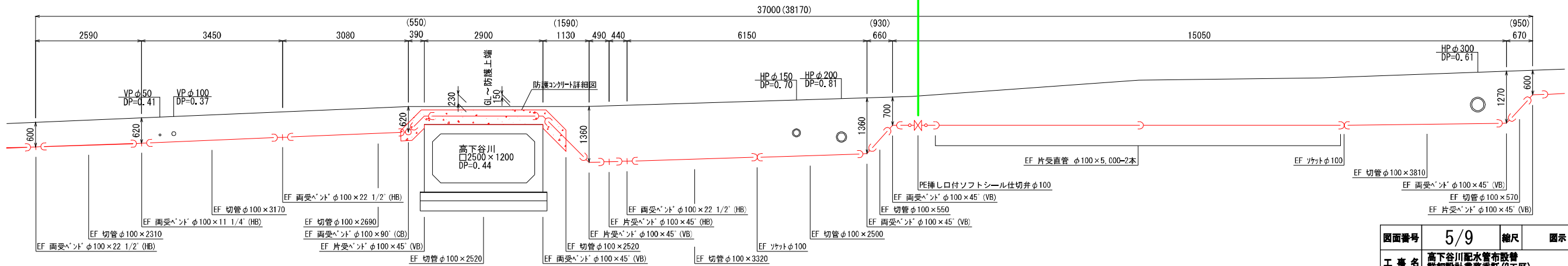
配水管詳細図(2) S=Free



防護コンクリート詳細図 S=1/30

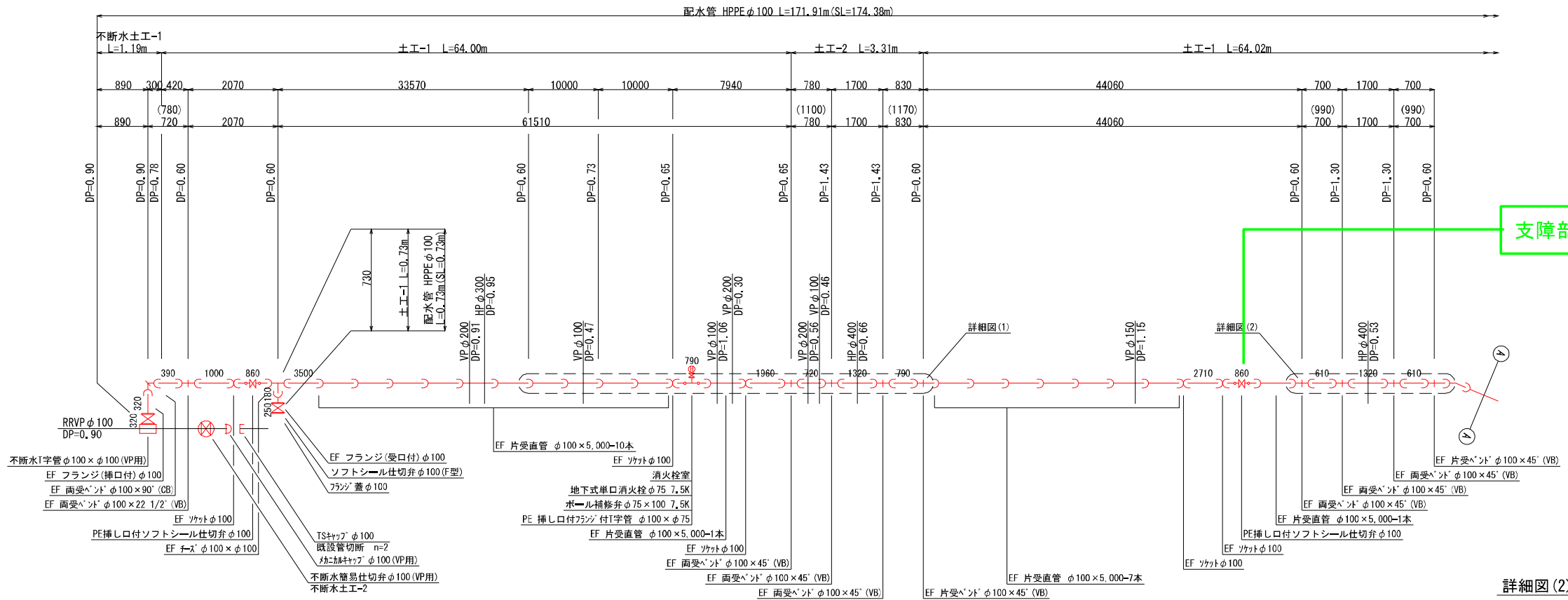


詳細図(3)

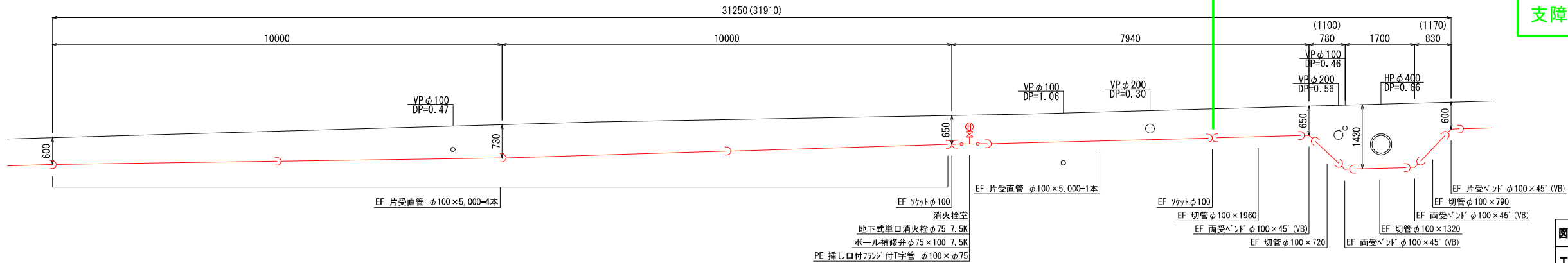


図面番号	5/9	縮尺	図示
工 事 名	高下谷川配水管布設替 詳細設計業務委託(2工区)		
図 名	配水管詳細図(2) 防護コンクリート詳細図		
工事箇所	竹原市下野町		
事業者名	広島県水道広域連合企業団 竹原事務所		

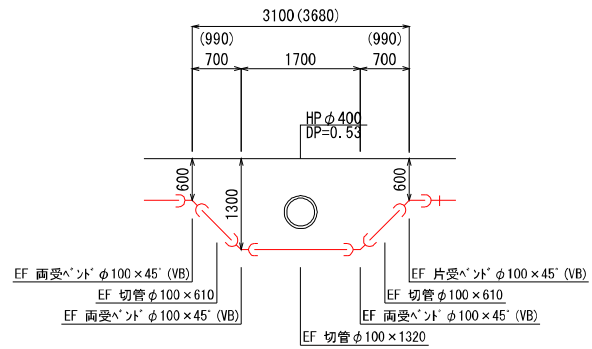
配水管詳細図(1) S=Free



詳細図(1)



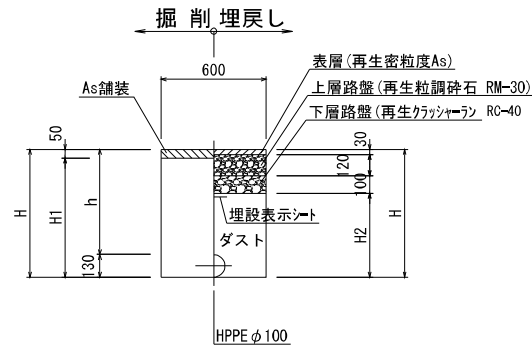
詳細図(2)



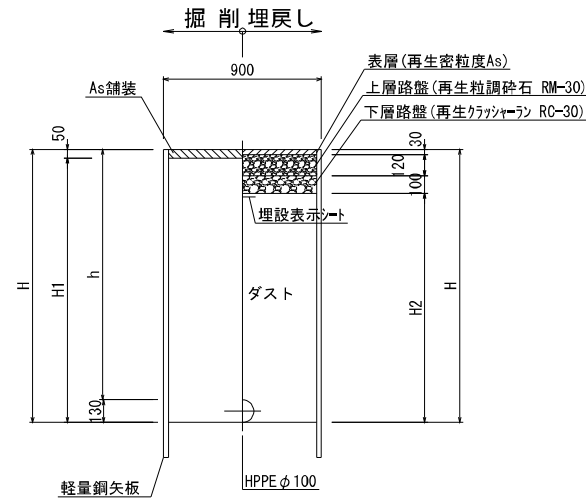
図面番号	6/9	縮尺	図示
工事名	高下谷川配水管布設替 詳細設計業務委託(2工区)		
図名	配水管詳細図(1)		
工事箇所	竹原市下野町		
事業者名	広島県水道広域連合企業団 竹原事務所		

土工図 S=1:20

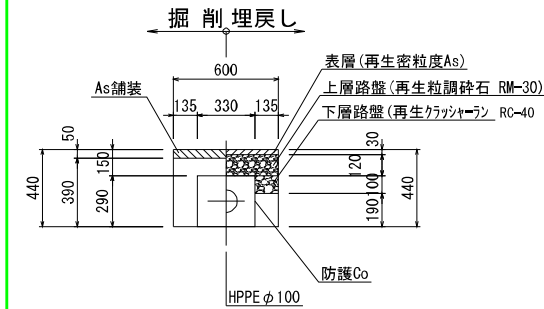
土工-1
市道車道As



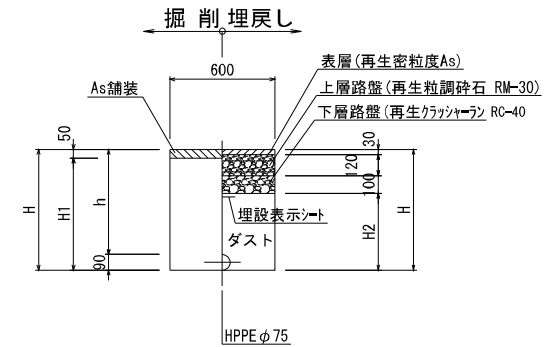
土工-2
市道車道As



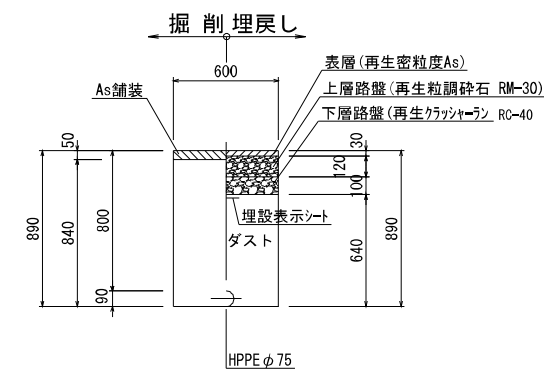
土工-3
市道車道As



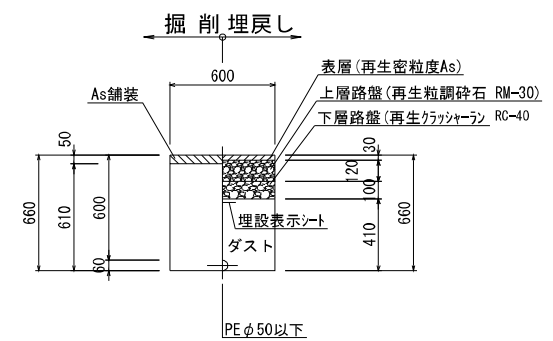
土工-4
市道車道As



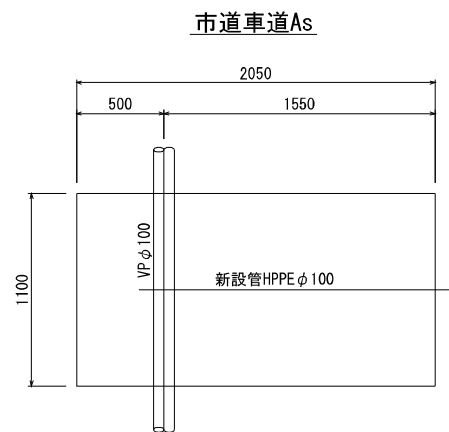
給水土工-1
市道車道As



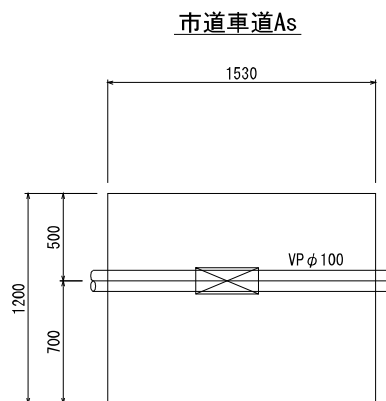
給水土工-2
市道車道As



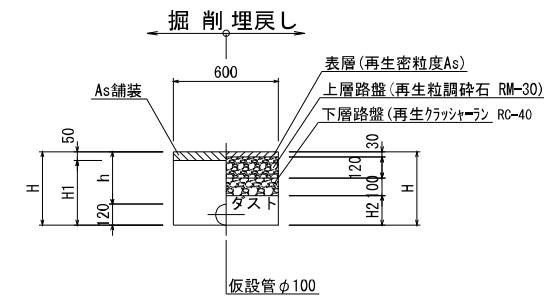
不断水土工-1
φ100×φ100



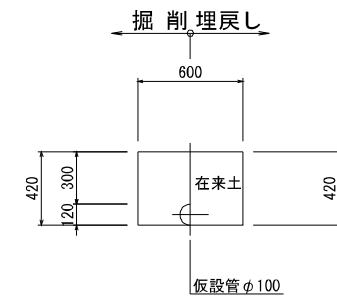
不断水土工-2
不断水仕切弁φ100



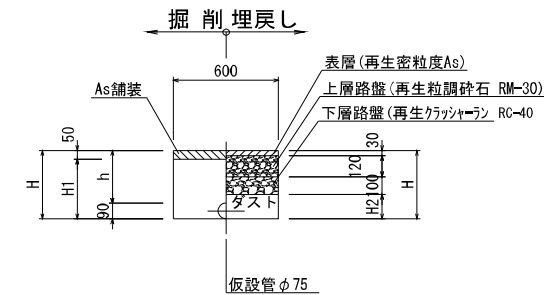
仮設撤去土工-1
市道車道As・宅内As



仮設撤去土工-2
未舗装



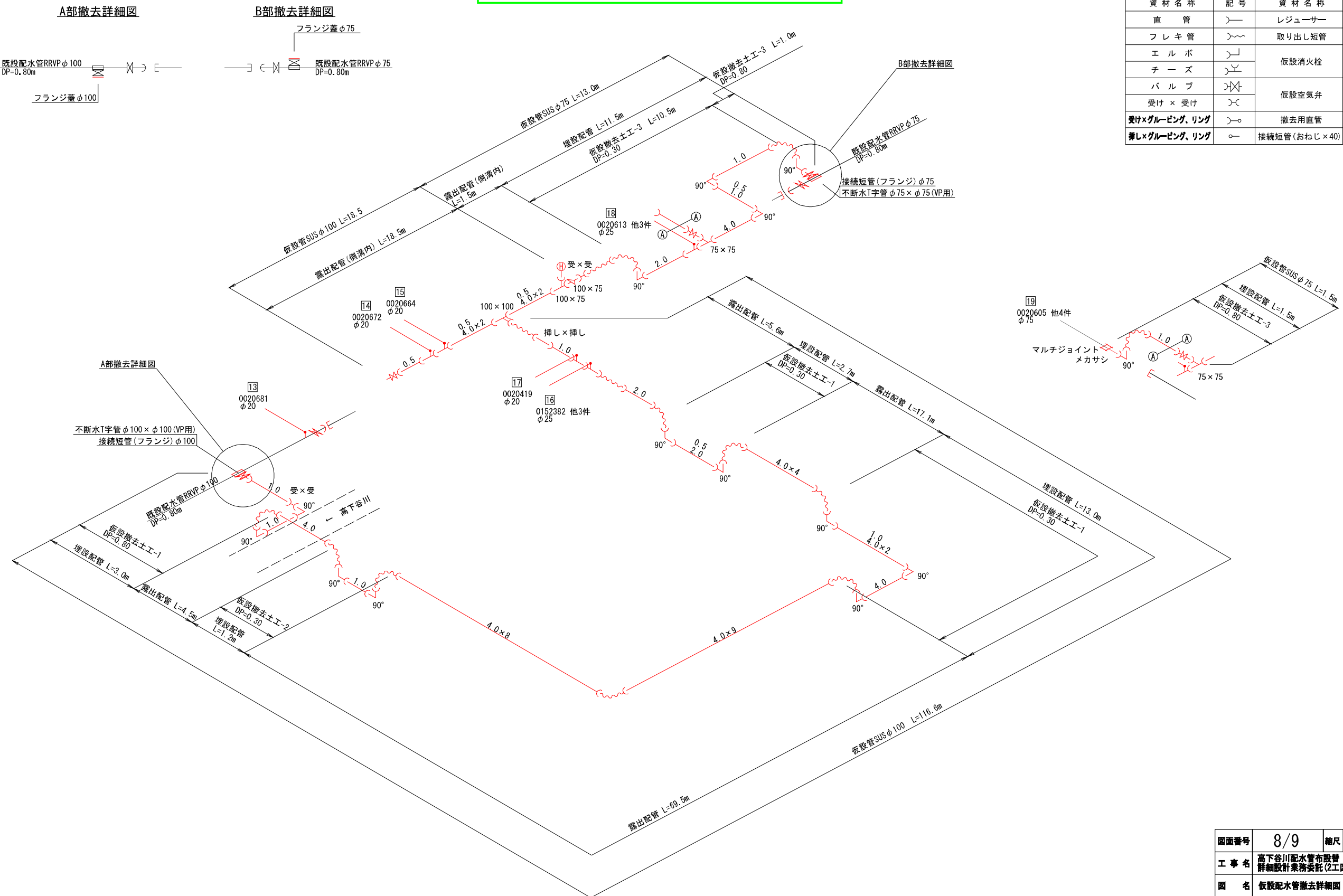
仮設撤去土工-3
市道車道As



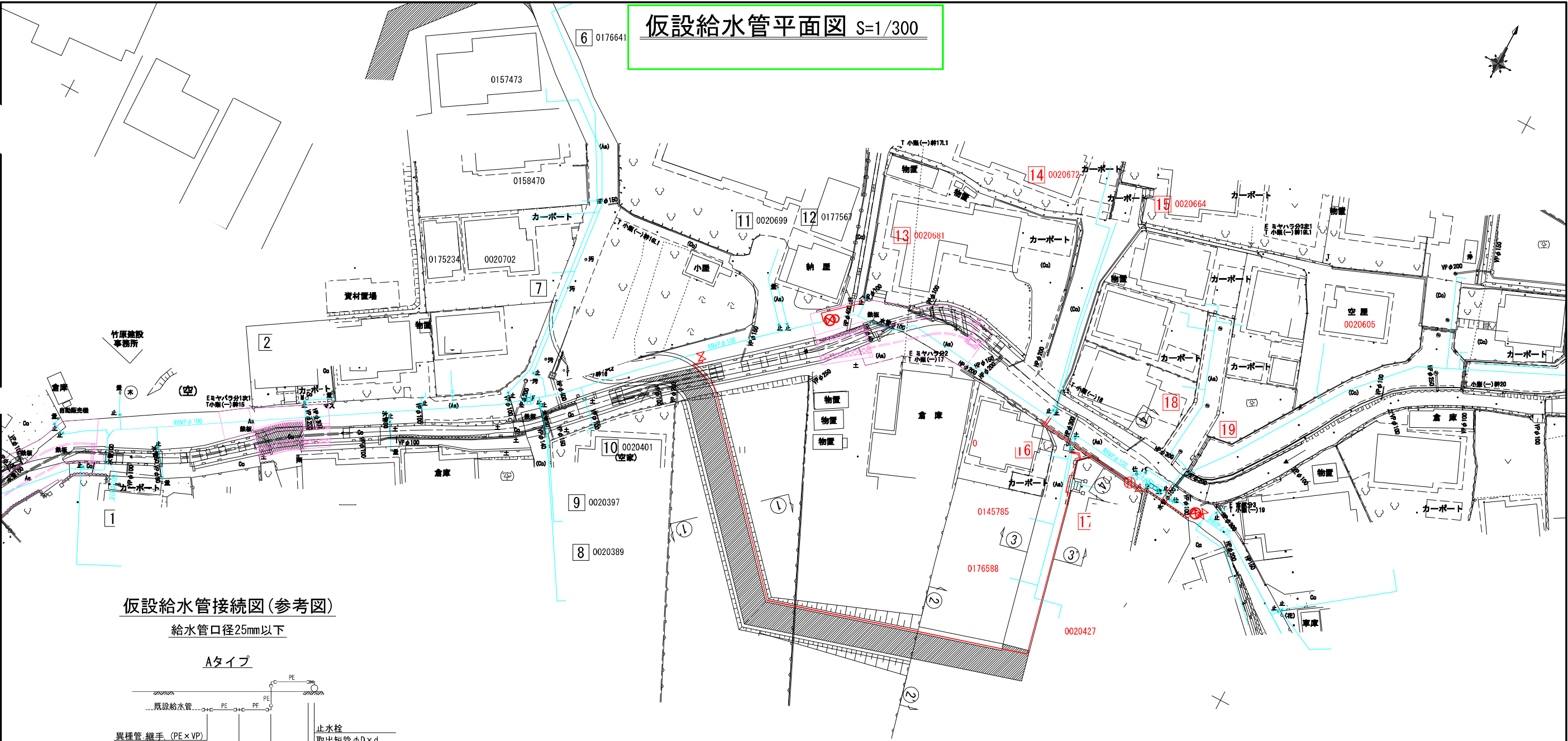
図面番号	7/9	縮尺	1:20
工事名	高下谷川配水管布設替 詳細設計業務委託(2工区)		
図名	土工図		
工事箇所	竹原市竹原町		
事業者名	広島県水道広域連合企業団 竹原事務所		

仮設配水管撤去詳細図 S=Free
仮設管撤去SUS（リース管）

資 材 名 称	記 号	資 材 名 称	記 号
直 管	┐┌	レジャーサー	◁
フ レ キ 管	┐┐	取り出し短管	┐┐
エ ル ボ	┐┐	仮設消火栓	Ⓜ
チ ー ズ	┐┐	仮設空気弁	Ⓐ
パ ル プ	┐┐	撤去用直管	┐┐
受け × 受け	┐┐	接続短管 (おねじ × 40)	┐┐
受け×グルーピング、リング	┐┐		
挿し×グルーピング、リング	○		



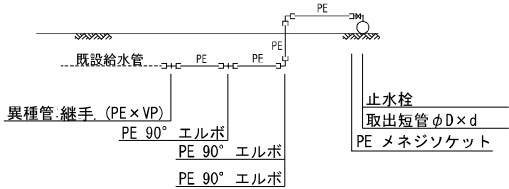
図面番号	8/9	縮尺	Free
工 事 名	高下谷川配水管布設替 詳細設計業務委託(2工区)		
図 名	仮設配水管撤去詳細図		
工事箇所	竹原市下野町		
事業者名	広島県水道広域連合企業団 竹原事務所		



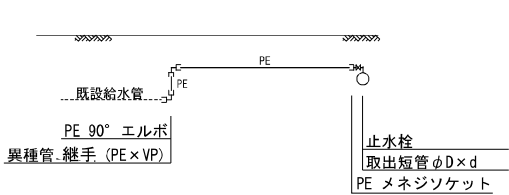
仮設給水管接続図(参考図)

給水管口径25mm以下

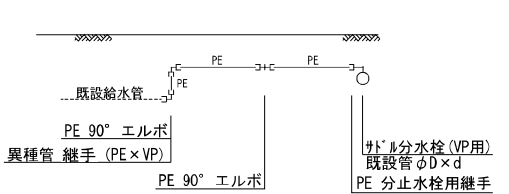
Aタイプ



Bタイプ



Cタイプ



給水管数量表

番号	水栓番号	本管径		給水管 口径	タイプ	材料数量														土工数量 (m)			
		PE切管 (m)	SUS (リース)			サドル分水栓		PE継手				異種管継手		仮設給水 土工-1									
			取出し短管			VP用		メネジ		エルボ		分止水栓用			(PE × VP)								
			φ20			φ25	100A × 20A	100A × 25A	75A × 25A	φ100 × φ20		φ20	φ25			φ20	φ25	φ20		φ20	φ25		
13	0020681		φ100	φ20	C	8.2					1				2		1		1		7.9		
14	0020672	φ100		φ20	A	1.4		1				1			3				1		1.1		
15	0020664	φ100		φ20	A	1.4		1				1			3				1		1.1		
16	0152382, 他3件	φ100		φ25	A		2.2		1					1		3				1		1.9	
17	0020419	φ100		φ20	A	2.0		1				1			3				1		1.7		
18	0020613, 他3件	φ75		φ25	B		2.6			1				1	1				1		2.3		
19	0020605, 他4件	φ75		φ75																			
仮設配水管詳細図参照																							
合計						13.0	4.8	3	1	1	1		3	2	12	3	1		4	2	16.0		

図面番号	9/9	縮尺	図示
工事名	高下谷川配水管布設替 詳細設計業務委託(2工区)		
図名	仮設給水管平面図		
工事箇所	竹原市下野町		
事業者名	広島県水道広域連合企業団 竹原事務所		